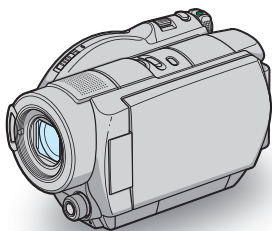
SONY

2-319-777-**01**(1)

デジタルHDビデオカメラレコーダー

HANDYCAM

取扱説明書

HDR-UX5/UX7

警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

警告 安全のために

→112～114ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷がないか、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラや充電器などの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンターへご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら煙が出たら

❶ 電源を切る
❷ 電池をはずす
❸ テクニカルインフォメーションセンターに連絡する

裏表紙に**テクニカルインフォメーションセンターの連絡先**があります。

危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。
❷ 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
❸ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
❹ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

危険
この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

警告
この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

注意
この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、
けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

「安全のために」の文中の「電池」とは、バッテリーパックも含みます。

使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

本機には2種類の取扱説明書があります。

- 取扱説明書（本書）
- 付属のアプリケーションを使用してパソコンと接続するための「ファーストステップガイド」（付属のCD-ROM内）

本機で使えるディスクについて

本機で使用できるディスクは、下記のみです。

- 8cm DVD-RW
- 8cm DVD+RW
- 8cm DVD-R
- 8cm DVD+R DL

下記のマークのついたディスクをお使いください（詳しくは11ページ）。

記録/再生における信頼性、耐久性の面から、ソニー製ディスク、またはビデオカメラでの使用に適した for VIDEO CAMERA（for VIDEO CAMERA）マークの付いたディスクのご使用をおすすめします。

ご注意

- 上記以外のディスクを使用した場合は、正常な記録/再生や、ディスクの取出しができなくなる可能性があります。

本機で使える"メモリースティック"について

本機では、MEMORY STICK DUO（"メモリースティック デュオ"）、MEMORY STICK PRO DUO（"メモリースティック PRO（プロ） デュオ"）マーク付きの"メモリースティック デュオ"が使えます（詳しくは103ページ）。

"メモリースティック デュオ"（本機で使用するサイズ）

"メモリースティック"（本機では使用できません）

- "メモリースティック デュオ"以外のメモリーカードは使用できません。
- "メモリースティック PRO"、"メモリースティックPRO デュオ"は"メモリースティック PRO"対応機器でのみ使用可能です。
- "メモリースティック デュオ"本体およびメモリースティック デュオ アダプターにラベルなどは貼らないでください。

"メモリースティック デュオ"を"メモリースティック"対応機器で使用する場合

必ず"メモリースティック デュオ"をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。

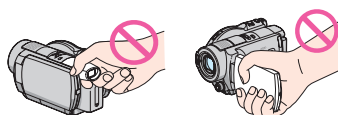
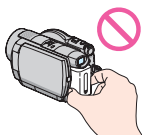
メモリースティック デュオ アダプター

故障や破損の原因となるため、特にご注意ください。

- 次の部分をつかんで持たないでください。

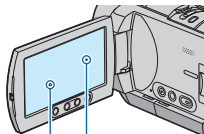
ファインダー

液晶画面

次のページへつづく→

バッテリー

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「本機の取り扱いについて」もご覧ください(105ページ)。
- 本機の電源ランプ(20ページ)やアクセスランプ(23ページ)が点灯中に次のことをすると、ディスクが壊れたり、記録した映像が失われる場合があります。
  – 本機からバッテリーやACアダプターを取りはずす
  – 本機に衝撃や振動を与える
- HDMIケーブル、D端子コンポーネントビデオケーブル、USBケーブルなどで接続する場合、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。

メニュー項目、液晶画面、ファインダーおよびレンズについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目などは、その撮影/再生条件では使えません(同時に選べません)。
- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

黒い点

白や赤、青、緑の点

- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

録画/録音に際してのご注意

- 事前にためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。DVD-R/DVD+R DLでは1度記録した内容は消去できませんので、ためし撮りにはDVD-RW/DVD+RWのご使用をおすすめします(11ページ)。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画/録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

他機での再生に際してのご注意

HD(ハイビジョン)画質で記録したディスクは、AVCHD規格に非対応の機器で再生、初期化することはできません。

本書について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。画像や本機の画面表示は実際に見えるものと異なります。
- 記録メディアやアクセサリーの仕様および外観は、予告なく変更することがあります。
- 本書では8cm DVDを「ディスク」と表現しています。
- 本書でイラストに使用している機種はHDR-UX7です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

カールツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイス レンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF*測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイス レンズとしての品質を維持しています。

さらに本機はT∗コーティングを採用しており、不要な反射を抑え、忠実な色再現性を実現しております。

* Modulation（モジュレーション） Transfer（トランスファー） Function（ファンクション）の略。コントラストの再現性を表す指標です。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

本書で使うマークについて

お使いになるディスクの種類によっては、できない操作があります。その場合には、対応しているディスクを下記のようなマークで記載しています。

DVD +R DL

- これらのマークは、HD（ハイビジョン）画質で記録するときの操作を表しています。

目次

本機の設定を変える

パソコンとつなぐ

困ったときは

その他

安全のために 112

各部のなまえ・用語集・索引

「やりたいこと」から探す目次

ゴルフのスイングをチェックしたい

ゲレンデや浜辺できれいに撮りたい

動画撮影中に静止画も撮りたい

ステージ上の子供の顔がライトで白くなってしまう

花をアップでくっきり撮りたい

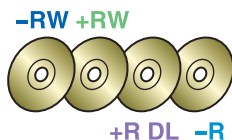
花火をきれいに撮りたい

画面左の犬にピントを合わせたい

暗い部屋で子供の寝顔をきれいに撮りたい

使いかたの流れ

▶ディスクを用意する（11ページ）。

本機の**「ディスク選択ガイド」**（57ページ）が、使いかたにぴったりなディスクを選ぶアドバイスをします。

▶ディスクを初期化する（23ページ）。

初期化のときに、記録画質をHD（ハイビジョン）とSD（標準）の、どちらにするかを選びます。

HD(ハイビジョン)画質で記録すると？	SD(標準)画質で記録すると？
AVCHD規格	DVD規格
SD（標準）画質の約4.5倍の情報量を記録。記録したディスクは、AVCHD規格対応機器で再生できます（56ページ）。	記録したディスクは、DVD機器で再生できます。

ご注意

- 本機はAVCHD規格の「1440×1080/60i」に対応しています（102ページ）。本書では特に説明する場合を除き、AVCHD1080i方式のことを「AVCHD」と書きます。

▶本機で撮影する（29ページ）。

動画はディスクに、静止画は“メモリースティック デュオ”に記録することができます。

次のページへつづく→

HD(ハイビジョン)画質で記録した画像を楽しもう!

▶ハイビジョンテレビで楽しむ(39ページ)。

高精細で鮮やかなHD(ハイビジョン)画質で楽しめます。

▶ハイビジョン非対応のテレビで楽しむ(39ページ)。

HD(ハイビジョン)画質で記録した画像を従来のテレビで再生できます。画質はSD(標準)になります。

ちょっと一言

- [テレビ接続ガイド]がテレビに合った接続方法をアドバイスします(39ページ)。

▶AVCHD規格対応機器でディスクを再生する(56ページ)。

お持ちの機器がAVCHD規格に対応していれば、HD(ハイビジョン)画質のディスクを入れて再生することができます。

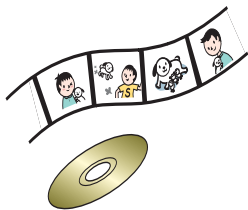
重要なお知らせ

- DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、HD(ハイビジョン)画質で記録したディスクを再生できません。
- HD(ハイビジョン)画質で記録したディスクはDVDプレーヤーやDVDレコーダーに入れないでください。ディスクの取り出しができなくなることがあります。

▶DVD機器につないでダビングする(49ページ)。

ダビングされる画質はSD(標準)になります。

▶パソコンで編集する(81ページ)。

HD(ハイビジョン)画質のままで編集したり、ディスクをそのままコピーしたりできます。付属のアプリケーションソフトをインストールしたパソコンを使います。

知っておきたいディスクの特長

本機では直径8cmのDVD-RWとDVD+RW、DVD-R、DVD+R DLが使えます。記録画質（HD（ハイビジョン）/SD（標準））とディスクの種類で、撮影後にできることが決まります。撮影や編集の目的に合ったディスクを用意してください。

（　）は参照ページ

HD（ハイビジョン）画質で記録するとき

ディスクの種類	DVD-RW	DVD+RW	DVD-R	DVD+R DL
ディスクのマーク	DVD R W	RW DVD+ReWritable	DVD R	RW DVD+R DL
本機で画像を削除、編集できる（44、46）	○	○	－	－
他機で再生するには、ファイナライズが必要（52）	○	○	○	○
ファイナライズ後に追加で記録できる（60）	○	○	－	－
初期化してまた使える（58）	○	○	－	－
1枚のディスクの片面に長時間記録できる	－	－	－	○

SD（標準）画質で記録するとき

ディスクの種類	DVD-RW*1 VIDEO	DVD-RW*1 VR	DVD+RW	DVD-R	DVD+R DL
ディスクのマーク	DVD R W		RW DVD+ReWritable	DVD R	RW DVD+R DL
撮影直後の画像を削除できる（45）	○	○	○	－	－
本機で画像の削除や編集が自由にできる（44、46）	－	○	－	－	－
他機で再生するには、ファイナライズが必要（52）	○	○	－*2	○	○
ファイナライズ後に追加で記録できる（60）	○	○	○	－	－
初期化してまた使える（58）	○	○	○	－	－
1枚のディスクの片面に長時間記録できる	－	－	－	－	○

*1 DVD-RW のときは、VIDEO モードと VR モードの 2 つの記録フォーマットがあります。

*2 パソコンの DVD ドライブで再生する場合は、ファイナライズが必要になります。ファイナライズしていないディスクはパソコンの故障の原因になります。

次のページへつづく➡

撮影可能時間

ディスク片面あたりの録画時間の目安。録画モード(63ページ)によって撮影可能時間は異なります。

(　)内は最低録画時間

ディスクの種類	DVD-RW/DVD+RW/DVD-R	DVD+R DL
HD(ハイビジョン)画質のとき		
AVC HD 12M(HQ+)(最高画質)	約15(14)分	約27(26)分
AVC HD 9M(HQ)(高画質)	約20(14)分	約35(26)分
AVC HD 7M(SP)(標準画質)	約25(18)分	約45(34)分
AVC HD 5M(LP)(長時間)	約32(26)分	約60(50)分
SD(標準)画質のとき		
SD 9M(HQ)(高画質)	約20(18)分	約35(32)分
SD 6M(SP)(標準画質)	約30(18)分	約55(32)分
SD 3M(LP)(長時間)	約60(44)分	約110(80)分

ご注意

- HD(ハイビジョン)画質で記録するとき、画像の比率はワイド(16:9)になります。

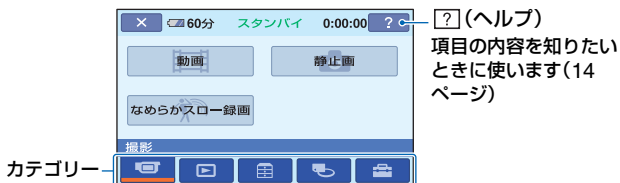
ちょっと一言

- 表の12M、9Mなどの数値は、平均ビットレートです。「M」は「Mbps」のことです。
- 両面ディスクを使うと、表面と裏面の両方に記録できます(101ページ)。
- 本機の[ディスク選択ガイド]を使って選ぶこともできます(57ページ)。

撮影シーンに合わせてビットレート(一定時間あたりの記録データ量)を自動調節するVBR(Variable Bit Rate)方式を採用しています。そのため、ディスクへの録画時間は変動します。たとえば、動きの速い映像はディスクの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、ディスクの録画時間は短くなります。

「ホーム」と「オプション」

ー2種類のメニューで本機を使いこなす！

「ホームメニュー」は、操作の出発点

▶ホームメニューのカテゴリーと項目

(撮影)カテゴリー

項目	ページ
動画*	30
静止画*	30
なめらかスロー録画	34

(画像再生)カテゴリー

項目	ページ
V.インデックス*	36
プレイリスト	47

(その他の機能)カテゴリー

項目	ページ
削除*	44
編集	46
プレイリスト編集	47
印刷	50
パソコン接続	44
テレビ接続ガイド*	39

(ディスク/メモリー管理)カテゴリー

項目	ページ
ファイナライズ*	52
ディスク選択ガイド	57
初期化*	58
初期化*	59
ファイナライズ解除	60
ディスク情報	52

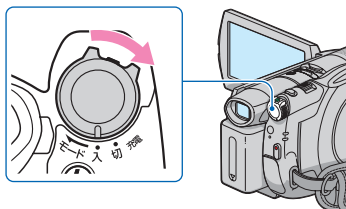
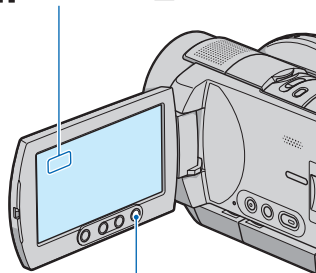
(設定)カテゴリー

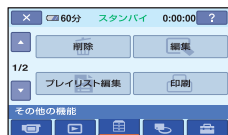
お買い上げ時の設定の変更など、さまざまな設定ができます(61ページ)。*

* シンプル操作(26ページ)中も設定できます。
(設定)カテゴリーで使える項目について詳しくは、62ページをご覧ください。

次のページへつづく➡

ホームメニューの使いかた

1 電源スイッチをずらして、本機の電源を入れる。

2 (ホーム)ボタンA(またはB)を押す。

3 希望のカテゴリーをタッチする。

例)(その他の機能)カテゴリーのとき

4 希望の項目をタッチする。

例)[編集]のとき

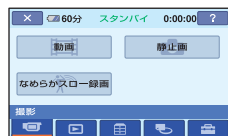
5 本機の表示にしたがって操作する。

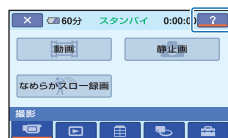
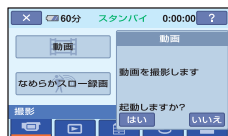
ホームメニュー画面を消すには

[X]マークをタッチする。

▶ホームメニューの各項目を見るには—ヘルプ

1 (ホーム)ボタンを押す。

ホームメニューが表示されます。

2 [?](ヘルプ)をタッチする。

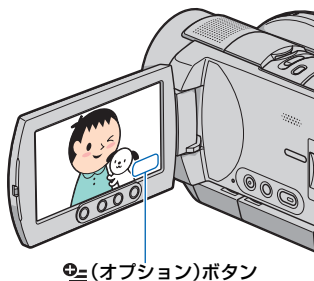
[?](ヘルプ)ボタンの下辺がオレンジ色に変わります。

3 **内容を知りたい項目をタッチする。**

タッチした項目の内容が表示される。その項目を実行するには[はい]、実行しないときには[いいえ]をタッチする。

ヘルプを解除するには

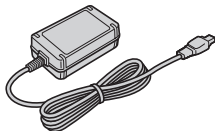
手順**2**でもう一度 ? (ヘルプ)をタッチする。

オプションメニューを使う

撮影、再生中など、その状況で使える機能を表示して、気軽に設定できます。オプションメニューを使うには、74ページをご覧ください。

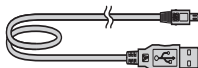
(オプション)ボタン

準備1：付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
（　）内は個数。

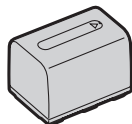
ACアダプター（1）（17ページ）

電源コード（1）（17ページ）

D端子コンポーネントビデオケーブル（1）（40ページ）

AV接続ケーブル（1）（40、49ページ）

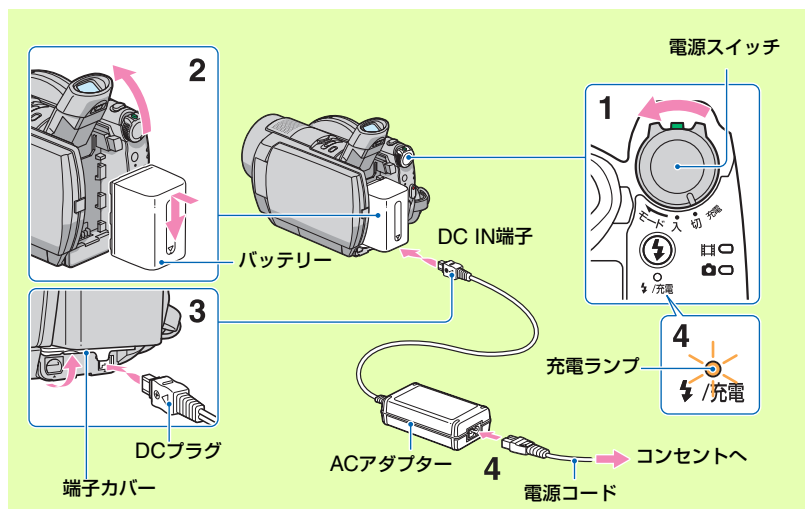
USBケーブル（1）（50ページ）

ワイヤレスリモコン（1）（118ページ）

ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FH60（HDR-UX5）、NP-FH70（HDR-UX7）（1）（17ページ）

CD-ROM「Handycam Application Software」（1）（83ページ）

取扱説明書 <本書>（1）

保証書（1）

準備2:バッテリーを充電する

専用の"インフォリチウム"バッテリー(Hシリーズ)(104ページ)を本機に取り付けて充電します。

ご注意

- "インフォリチウム"バッテリーHシリーズ以外は使えません。

1 電源スイッチを「切(充電)」(お買い上げ時の設定)にする。

2 ファインダーを上げて、バッテリーを「カチッ」というまで矢印の方向にずらして取り付ける。

3 ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子につなぐ。

端子カバーを開け、ACアダプターのDCプラグをつなぐ。本機とDCプラグの▲マークを合わせる。

4 電源コードをACアダプターとコンセントにつなぐ。

充電ランプが点灯し、充電が始まる。

5 充電ランプが消え、充電が終わったら(満充電)、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜く。

ご注意

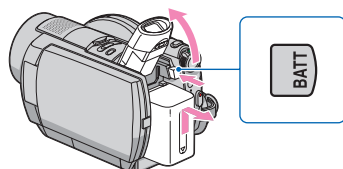
- ACアダプターを抜くときは、本機とDCプラグを持って抜いてください。

次のページへつづく➡

バッテリーを取り外すには

① 電源スイッチを「切(充電)」にする。

② ファインダーを上げる。

③ BATT(バッテリー取り外し)ボタンを押しながら、バッテリーを矢印の方向へずらして取り外す。

ご注意

- バッテリーやACアダプターは、本機の(動画)ランプ/(静止画)ランプ(20ページ)が点灯していないことを確認してから取り外してください。

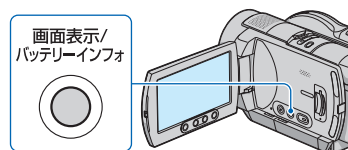
保管するときは

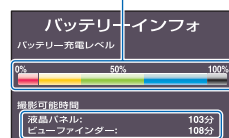
長い時間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管する(104ページ)。

コンセントからの電源で使うには

充電するときと同じ接続で使う。
バッテリーを取り付けたままでもバッテリーは消耗しません。

バッテリーの残量を確認するには

電源スイッチを「切(充電)」にしたあと、画面表示/バッテリーインフォボタンを押す。

しばらくすると、バッテリーの情報が約7秒間表示されます。情報が表示されている間にボタンを押すと、最大20秒まで表示を延長できます。

およそのバッテリー残量

およその撮影可能時間

充電時間(満充電)

使い切った状態からのおよその時間(分)。

バッテリー型名	満充電時間
NP-FH50	135
NP-FH60(HDR-UX5に付属)	135
NP-FH70(HDR-UX7に付属)	170
NP-FH100	390

撮影可能時間

満充電からのおよその時間(分)。

HDR-UX5

バッテリー型名	連続撮影時		実撮影時*	
画質	HD**	SD**	HD**	SD**
NP-FH50	60 60 60	70 75 75	30 30 30	35 35 35
NP-FH60(付属)	75 75 90	95 100 100	35 35 45	45 50 50

バッテリー型名	連続撮影時		実撮影時*	
NP-FH70	130 130 135	155 165 165	65 65 65	75 80 80
NP-FH100	305 310 320	360 375 375	150 155 160	180 185 185

HDR-UX7

バッテリー型名	連続撮影時		実撮影時*	
画質	HD**	SD**	HD**	SD**
NP-FH50	55 55 55	65 65 65	25 25 25	30 30 30
NP-FH70 （付属）	115 120 120	140 145 145	55 60 60	70 70 70
NP-FH100	275 285 300	325 335 335	135 140 150	160 165 165

* 実撮影時とは、録画スタンバイ、電源スイッチの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。

** 「HD」はハイビジョン画質、「SD」は標準画質をあらわしています。

ご注意

- それぞれの時間は、録画モードが[SP]で、次の条件によるものです。

  上段：液晶画面バックライトが「入」のとき

  中段：液晶画面バックライトが「切」のとき

  下段：液晶画面を閉じてファインダーを使用時

再生可能時間

満充電からのおよその時間（分）。

HDR-UX5

バッテリー型名	液晶画面で再生*		液晶画面を閉じて再生	
画質	HD**	SD**	HD**	SD**
NP-FH50	90	105	100	120
NP-FH60 （付属）	125	140	135	160
NP-FH70	200	230	220	255
NP-FH100	455	515	500	580

HDR-UX7

バッテリー型名	液晶画面で再生*		液晶画面を閉じて再生	
画質	HD**	SD**	HD**	SD**
NP-FH50	90	100	95	110
NP-FH70 （付属）	195	220	205	235
NP-FH100	440	500	470	535

* 液晶画面バックライトが「入」のとき

** 「HD」はハイビジョン画質、「SD」は標準画質をあらわしています。

バッテリーについて

- バッテリーの交換は、電源スイッチを「切（充電）」にして（動画）ランプ/（静止画）ランプ（20ページ）が消えてから行ってください。
- 次のとき、充電中の充電ランプが点滅したり、バッテリーインフォ（18ページ）が正しく表示されないことがあります。
  – バッテリーを正しく取り付けていないとき
  – バッテリーが故障しているとき
  – バッテリーが劣化しているとき（バッテリーインフォ表示のみ）
- 電源コードをコンセントから抜いても、ACアダプターが本機のDC IN端子につながれてい

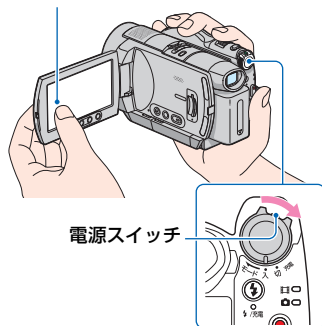
次のページへつづく➡

る限り、バッテリーからは電源供給されません。
- ビデオライト(別売り)を取り付けたときは、バッテリーパックNP-FH100でのご使用をおすすめします。
- NP-FH30は撮影/再生可能な時間が短いため、本機での使用はおすすめできません。

充電/撮影/再生可能時間について
- 25℃(10～30℃が推奨)で使用したときの時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影/再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影/再生可能時間が短くなります。

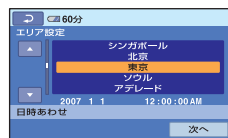
ACアダプターについて
- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

準備3:電源を入れて日付時刻を合わせる

初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れたり、電源スイッチを切り換えるたびに[日時あわせ]が表示されます。

1 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、使用するモードのランプを点灯させる。

(動画):動画を撮影するとき

(静止画):静止画を撮影するとき

日時合わせ画面が表示される。

2 ▲/▼でエリアを選び、[次へ]をタッチする。

3 サマータイムを設定し、[次へ]をタッチする。

日本国内で使用するときは[切]を選ぶ。

4 ▲/▼で[年]をあわせる。

5 ◀/▶で[月]に移動し、▲/▼であわせる。

6 同様に[日]、時、分をあわせ、[次へ]をタッチする。

7 設定された日付時刻を確認し、OK をタッチする。

設定した日時から時計が動き始めます。
2037年まで設定できます。
真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

電源を切るには

電源スイッチを「切(充電)」にする。

日付時刻を設定しなおすときは

(ホーム)→(設定)→[時計設定]→[日時あわせ]で設定する。

ご注意

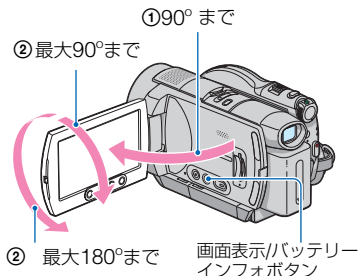
- 3か月近く使わないでおくと、内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。内蔵の充電式電池を充電してから設定し直してください(107ページ)。
- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかります。その間、本機の操作はできません。
- 本機の電源を入れると自動的にレンズカバーが開きます。再生画面に切り換えたり、電源を切ったりすると閉まります。
- お買い上げ時は、電源を入れて何もしない状態が約5分続くと、バッテリー消耗防止のため、自動的に電源が切れます([自動電源オフ]、73ページ)。

ちょっと一言

- 日付時刻は撮影時には表示されません。自動的にディスクに記録され、再生時に表示させることができます([日時/データ表示]、69ページ)。
- 世界時刻表は100ページをご覧ください。
- サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。本機で[サマータイム]を[入]にすると、時計が1時間進みます。
- 反応するボタンがずれていると感じるときは、タッチパネルの調節(キャリブレーション)をしてください(106ページ)。

準備4：撮影前の調節をする

液晶画面を見やすく調節する

液晶画面を90°まで開き（①）、見やすい角度に調節する（②）。

液晶画面バックライトを暗くしてバッテリーを長持ちさせるには

画面表示/バッテリーインフォボタンを ☼OFF が表示されるまで数秒間押したままにする。
明るい場所で使うときや、バッテリーを長持ちさせるときに効果的です。録画される画像に影響ありません。
解除するには、☼OFF が消えるまで画面表示/バッテリーインフォボタンを押したままにします。

ご注意

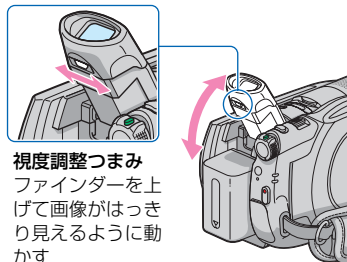
- 液晶画面を開閉するときや、角度を調節するときに、液晶画面下のボタンを誤って押さないようにご注意ください。

ちょっと一言

- 液晶画面を開いた状態でレンズ側に180°回転させると、外側に向けて本体に収められます。再生時に便利です。
- 液晶画面の明るさは、ホームメニューの （設定）→［音/画面設定］→［パネル明るさ］（70ページ）で調節できます。
- 画面表示/バッテリーインフォボタンを押すたびに、バッテリー残量などの情報が表示←→非表示と切り換わります。

ファインダーを見やすく調節する

バッテリー切れが心配なときや、液晶画面で画像を見づらいときなどは、液晶画面を閉じて、ファインダーで画像を見ることもできます。

ファインダー

視度調整つまみ
ファインダーを上げて画像がはっきり見えるように動かす

ちょっと一言

- ファインダーのバックライトの明るさは、ホームメニューの （設定）→［音/画面設定］→［VFバックライト］で設定できます（71ページ）。

準備5：ディスクや“メモリースティック デュオ”を入れる

ディスクを入れる

新しい8cm DVD-RW、8cm DVD+RW、8cm DVD-R、8cm DVD+R DLのいずれかを用意します（11ページ）。

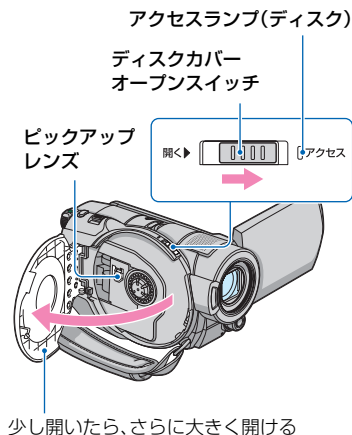
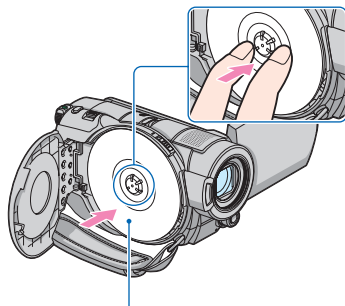
ご注意

- ディスクに付着した指紋や汚れは、柔らかい布などで拭き取っておいてください（101ページ）。

1 本機の電源が入っていることを確認する。

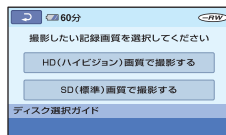
2 ディスクカバーオープンスイッチを矢印（開く▶）の方向へずらす。

液晶画面に［取り出し準備中］と表示され、自動的にディスクカバーが少し開きます。

少し開いたら、さらに大きく開ける

3 ディスクの記録面を本機側にして、「カチッ」というまで押し込む。

片面ディスクの場合、ラベル面が見えるようにして取り付ける

4 ディスクカバーを閉じる。

液晶画面に［ディスク認識中］と表示される。
認識に時間がかかることがあります。
DVD-R/DVD+R DLのときは、手順**7**に進む。

5 DVD-RW/DVD+RWのときは、［ディスク選択ガイドを使用する］をタッチする。

ご注意

- シンプル操作（26ページ）中は［ディスク選択ガイド］は使えません。本機の画面に従って初期化してください。

次のページへつづく➡

6 [HD(ハイビジョン)画質で撮影する]をタッチする。

SD(標準)画質で記録するときは、[SD(標準)画質で撮影する]をタッチする。表示される項目は、本機の状態やディスクの種類によって変わります。

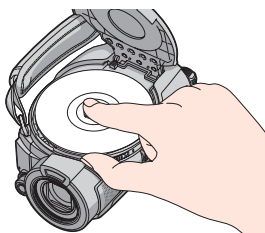
7 画面に表示される質問の答えをタッチする。

選んだ記録画質やモードでディスクの初期化が完了して、撮影を始められます。

SD(標準)画質を選んだときは

- DVD-RWのときは、記録フォーマットを[VIDEOモード]または[VRモード]から選択します(11ページ)。シンプル操作中(26ページ)にディスクを初期化すると、[VIDEOモード]に固定されます。
- DVD+RWのときは、動画の比率を[16:9ワイド]または[4:3]から選択します。

ディスクを取り出すには

① 手順**1**~**2**を行ってディスクカバーを開く。
② 中央の固定部分を押さえながら、ディスクの端をつまみ上げるようにして取り出す。

ご注意

- 記録画質(HD(ハイビジョン)、SD(標準)、9ページ)はディスクの途中で変更できません。
- ディスクカバーを開くときに、手や物がカバーの開閉の妨げにならないようにご注意ください。ベルトは、本機の下側にずらして操作してください。
- ディスクカバーを閉じるときにベルトをはさむと、故障の原因になります。
- 手がディスクの記録面やピックアップレンズに触れないようにしてください(107ページ)。両面ディスクを使用する場合は、特に指紋がつかないようにご注意ください。
- ディスクが正しく取り付けられていない状態でディスクカバーを閉じると、故障の原因となります。
- 初期化中にバッテリーやACアダプターなどの電源を取り外さないでください。
- アクセスランプの点灯中や点滅中、または[ディスク認識中]/[取り出し準備中]と表示されているときは、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。
- 記録内容によっては、取り出しに時間がかかることがあります。
- ディスクに傷や汚れがついていると、取り出しに10分程度かかることがあります。その場合、ディスクが壊れている可能性があります。

ちょっと一言

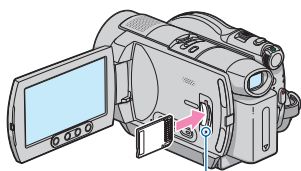
- ACアダプターやバッテリーが取り付けてある場合は、電源を入れなくてもディスクを出し入れできます。ただしディスクの認識(手順**4**)は行いません。
- DVD-RW/DVD+RWで、過去に記録した内容をすべて削除し、新たにディスクに記録するには、「画像をすべて削除する(初期化)」(58ページ)をご覧ください。
- ホームメニューの[ディスク選択ガイド]を使って最適なディスクを調べることができます(57ページ)。

“メモリースティック デュオ”を入れる

MEMORY STICK DUO、MEMORY STICK PRO DUO マーク付き“メモリースティック デュオ”のみ使えます（103ページ）。

ちょっと一言
- 画質や画像サイズによって撮影可能枚数は異なります。撮影枚数については67ページをご覧ください。

1 液晶画面を開く。

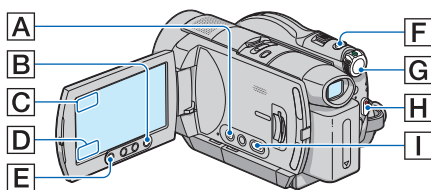
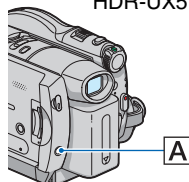
2 “メモリースティック デュオ”を正しい向きに、「カチッ」というまで押し込む。

アクセスランプ
（“メモリースティック デュオ”）

“メモリースティック デュオ”を取り出すには

液晶画面を開き、“メモリースティック デュオ”を軽く1回押して取り出す。

ご注意
- アクセスランプの点灯中や点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“メモリースティック デュオ”やバッテリーを取り外したりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- 誤った向きで無理に入れると、“メモリースティック デュオ”やメモリースティック デュオ スロット、画像データが破損することがあります。
- 出し入れ時には“メモリースティック デュオ”の飛び出しにご注意ください。

かんたんに撮って見る(シンプル操作)

ほとんどの設定を自動化するので、細かい設定なしに簡単に撮影、再生できます。
また、文字も大きく見やすくなります。

HDR-UX5

動画を撮る

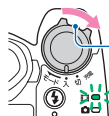
1 電源スイッチGで、(動画)ランプを点灯させる。

「切(充電)」から電源を入れるときのみ、押しながら矢印の方向へずらす。

2 シンプルボタンAを押す。

シンプル

シンプル が液晶画面に表示される。

3 スタート/ストップボタンH(またはE)を押して撮影を開始する。*

[スタンバイ]→[●録画]

もう一度押すと、録画ストップ。

静止画を撮る

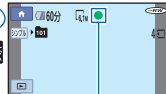
1 電源スイッチGで、(静止画)ランプを点灯させる。

「切(充電)」から電源を入れるときのみ、押しながら矢印の方向へずらす。

2 シンプルボタンAを押す。

シンプル

シンプル が液晶画面に表示される。

3 フォトボタンFを押して撮影する。**

軽く押してピント合わせ

点滅→点灯

深く押して撮影

* 動画は録画モード[SP]で記録されます。

** 静止画は画質[ファイン]で記録されます。

撮影した動画/静止画を見る

1 **電源スイッチGを矢印の方向にずらして、電源を入れる。**

2 **(画像再生)ボタンI(またはD)を押す。**

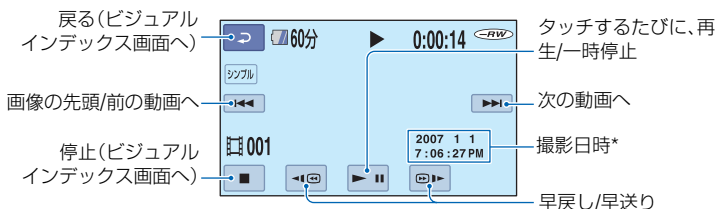
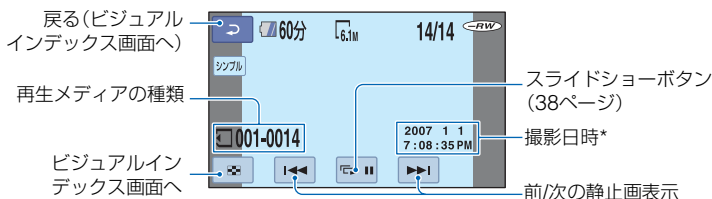
ビジュアルインデックス画面が表示されます(数秒かかります)。

3 **再生を始める。**

動画のときは:

タブをタッチして、見たい画像をタッチする。

撮る/見る

次のページへつづく➡

静止画のときは:
タブをタッチして、見たい画像をタッチする。

* [日時 / データ表示]は[日付時刻データ]に固定されます(69 ページ)。

ちょっと一言
- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、ビジュアルインデックス画面に戻ります。
- 一時停止中に / をタッチするとスロー再生が始まります。
- 動画の音量は、(ホーム)→(設定)→[音設定]→[音量]をタッチし、[−]/[+]で調節します。

シンプル操作をやめるには

シンプルボタンⒶをもう一度押す。液晶画面の シンプル 表示が消える。

シンプル操作中のメニュー設定

(ホーム)ボタンⒷ(またはⒸ)をタッチすると設定可能なメニューが表示されます(13、62ページ)。

ご注意
- シンプル操作中は、動画の削除や編集ができません。
- ほとんどのメニュー項目はお買い上げ時の設定に自動で戻ります。設定値が固定されるメニュー項目もあります。詳しくは、87ページをご覧ください。
- DVD-RWを初期化するとき、SD(標準)画質ではVIDEOモードに固定されます(11ページ)。
- (オプション)ボタンは表示されません。
- 画像に効果を加えたり、いろいろな設定をしたいときはシンプル操作を解除してください。

シンプル操作中は使えないボタン

ほとんどの機能は自動設定されるため、使えないボタン/機能があります(87ページ)。使えないボタンを押すと、[シンプル操作中は無効です]とメッセージが出ることもあります。

ディスクを他機で見られるようにするには(ファイナライズ)

ディスクを他機やコンピューターで再生できるようにするには「ファイナライズ」が必要です。操作方法について詳しくは、52ページをご覧ください。

ご注意
- DVD-R、DVD+R DLは、一度ファイナライズするとディスクの記録容量が残っていても再利用や追加記録はできなくなります。
- シンプル操作中、ディスクメニューは[パターン1]に固定されます。
- シンプル操作中は、ファイナライズしたディスクに追加記録ができません(60ページ)。

撮る

（ホーム）ボタンE

フォトボタンF

（ホーム）ボタンD

レンズカバー
電源スイッチに連動して開く

スタート/ストップ　W　T

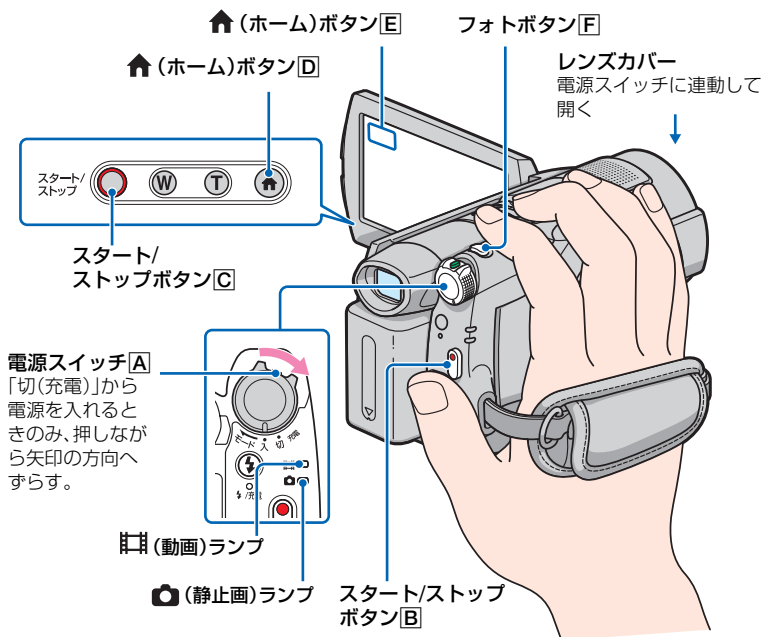
スタート/ストップボタンC

電源スイッチA
「切（充電）」から電源を入れるときのみ、押しながら矢印の方向へずらす。

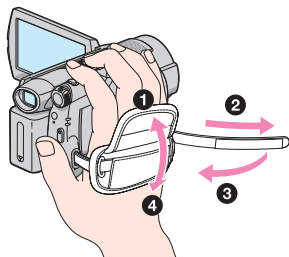
モード　入　切　充電

（動画）ランプ

（静止画）ランプ

スタート/ストップボタンB

グリップベルトを調整する

グリップベルトを図の順番にしっかりと締め、正しく構えます。

ご注意

- 撮影終了後、アクセスランプ点灯中（23、25ページ）は、撮影したデータを記録メディアに書き込み中です。本機に衝撃や振動を与えたり、バッテリーやACアダプターを取り外したりしないでください。

次のページへつづく➡

動画を撮る

ディスクに動画を記録できます。撮影可能時間は、12ページをご覧ください。

1 電源スイッチAを矢印の方向にずらして、（動画）ランプを点灯させる。

2 スタート/ストップボタンB（またはC）を押す。

[スタンバイ]→[●録画]

撮影をやめるときは、スタート/ストップボタンをもう一度押す。

動画撮影中に、"メモリースティック デュオ"に高画素の静止画を記録するには（デュアル記録）

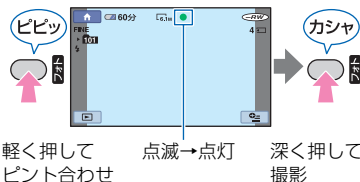
32ページをご覧ください。

静止画を撮る

"メモリースティック デュオ"に静止画を記録できます。撮影可能枚数は、67ページをご覧ください。

1 電源スイッチAを矢印の方向にずらして、（静止画）ランプを点灯させる。

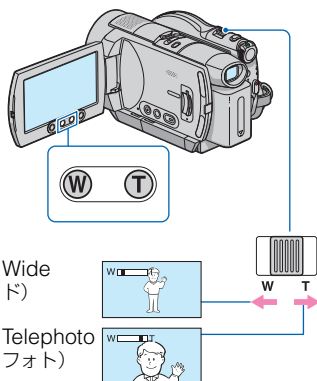
2 フォトボタンFを押す。

軽く押して ピント合わせ　点滅→点灯　深く押して 撮影

の横にが表示される。が消えると記録が完了する。

（ホーム）ボタンD（またはE）で撮影モードに切り換えるには

ホームメニューの（撮影）→[動画]または[静止画]をタッチする。

ズームする

10倍までズームできます。
倍率はズームレバーまたは液晶画面下のズームボタンで調整します。

広角：Wide
（ワイド）

望遠：Telephoto
（テレフォト）

ズームレバーを軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームする。

ご注意

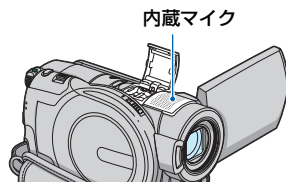
- ズームレバーから急に指を離すと操作音が記録される場合があるのでご注意ください。
- 液晶画面下のズームボタンでは、ズームする速さを変えることはできません。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

ちょっと一言

- ［デジタルズーム］（64ページ）を使うと、10倍を超えたズームを使えます。

臨場感のある音で記録する（5.1chサラウンド記録）

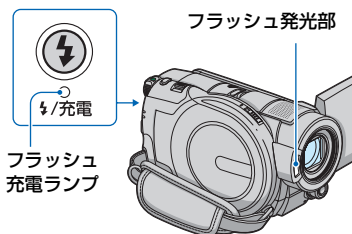
内蔵マイクで取り込んだ音を5.1chサラウンド音声に変換して記録します。

DOLBY DIGITAL 5.1 CREATOR

本機は、ドルビーデジタル5.1クリエーターの搭載により、5.1chサラウンド音声を記録できます。5.1chサラウンドに対応した機器で再生すると、臨場感あふれる音を楽しめます。

ドルビーデジタル5.1クリエーター、5.1chサラウンド音声 用語集（122ページ）へ

ご注意

- HD（ハイビジョン）画質で記録したディスクを再生して5.1chサラウンド音声を楽しむには、5.1chサラウンドに対応したAVCHD規格対応機器が必要です（56ページ）。
- 本機で5.1ch音声を再生すると、2chに変換されて出力されます。
- 5.1ch記録/再生時には、画面に♪5.1chが表示されます。

フラッシュを使う

ϟ（フラッシュ）ボタンを繰り返し押して、お好みの設定を選ぶ。

表示なし（自動調節）：撮影状況により光量が足りないと判断した場合、自動的に発光する。

↓

ϟ **（強制発光）**：周囲の明るさに関係なく、常に発光する。

↓

（発光禁止）：常に発光しない。

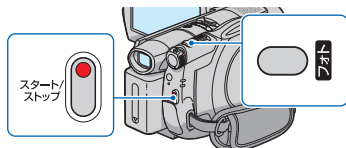
ご注意

- 内蔵フラッシュの推奨撮影距離は約0.3m～2.5mです。
- フラッシュ表面の汚れは取り除いてください。光による熱で汚れが変色、貼り付くなどしてフラッシュが充分な量を発光できなくなることがあります。
- フラッシュ充電ランプはフラッシュ充電中に点滅し、充電が完了すると点灯に変わります。
- 逆光時など明るい場所では、強制発光を行ってもフラッシュ効果が得られにくいことがあります。
- コンバージョンレンズ（別売り）やフィルター（別売り）取り付け時は、フラッシュは発光しません。

ちょっと一言

- ［フラッシュレベル］で発光量を手動で変えたり（66ページ）、［赤目軽減］で目が赤く写るのを抑制したりできます（66ページ）。

動画撮影中に高画素の静止画を記録する（デュアル記録）

動画撮影中に、“メモリースティック デュオ”に高画質の静止画を記録することができます。

① 電源スイッチを（動画）にして、スタート/ストップボタンを押し、動画撮影を開始する。

② フォトボタンを深く押す。
動画撮影を開始してから終了するまでに、最大３枚までの静止画を記憶することができる。

静止画記憶枚数
記憶されると、オレンジ色に変わる。

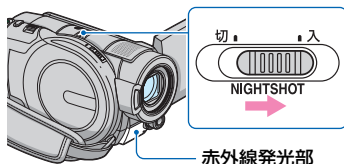
③ スタート/ストップボタンを押して動画撮影を終了する。
記憶していた静止画が1枚ずつ表示され、“メモリースティック デュオ”に記録される。が消えると記録が完了する。

ご注意

- デュアル記録をしたときは、動画撮影を終了して“メモリースティック デュオ”への記録が完了するまで、本機から“メモリースティック デュオ”を抜かないでください。
- フラッシュ撮影はできません。

ちょっと一言

- 電源スイッチが（動画）のとき、静止画の画像サイズは以下になります。
  – 2.3M（16:9）または1.7M（4:3）（HDR-UX5）
  – 4.6M（16:9）または3.4M（4:3）（HDR-UX7）
- 撮影スタンバイ中は電源スイッチが（静止画）のときと同様に静止画を記録できます。フラッシュ撮影も可能です。

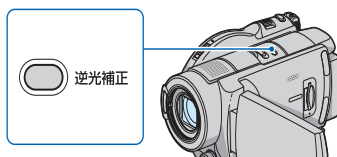
暗い場所で撮る（NightShot）

NIGHTSHOTスイッチを「入」にする。
（が表示される。）

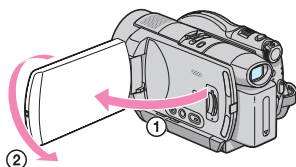
ご注意

- NightShotとSuper NightShotは赤外線を利用するため、赤外線発光部を指などで覆わないでください。
- コンバージョンレンズ（別売り）は外してください。
- ピントが合いにくいときは、手動ピント合わせ（[フォーカス]、76ページ）をしてください。
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。

ちょっと一言

- さらに高感度で撮影するにはSuper NightShot（79ページ）、薄暗い場所でも明るくカラーで撮影するにはColor Slow Shutter（79ページ）が使えます。

逆光を補正する

逆光補正ボタンを押すとが表示されて補正される。解除するにはもう一度押す。

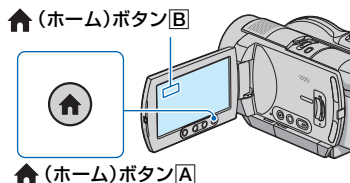
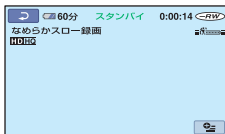
自分撮り（対面撮影）する

液晶画面を90°まで開いてから（①）、レンズ側に180°回す（②）。

ちょっと一言

- 液晶画面には左右反転で映りますが、実際には左右正しく録画されます。

次のページへつづく➡

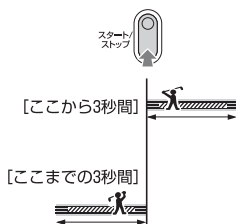
速い動作をスローモーションで記録する（なめらかスロー録画）

通常撮影では見ることができない高速な動作、現象を、なめらかなスローモーション映像として撮影します。ゴルフ、テニスのスイングなどの速い動きの撮影時に便利です。

① 電源スイッチをずらして、本機の電源を入れる。
② （ホーム）ボタンA（またはB）を押して、ホームメニューを表示する。
③ （撮影）をタッチする。
④ ［なめらかスロー録画］をタッチする。

⑤ スタート/ストップボタンを押す。
約3秒間の録画が、約12秒間のスローモーション映像として記録される。［ディスクに録画中］が消えると記録が完了する。

解除するには、をタッチする。

設定を変更するには

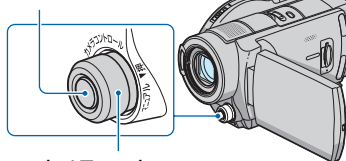
（オプション）→タブをタッチして変更したい設定を選ぶ。

- ［タイミング］
スタート/ストップボタンを押してから記録を開始するタイミングを選択する（お買い上げ時の設定は［ここから３秒間］）。

- ［音声記録］
［入］（）にすると、スローモーション映像に会話などを追加記録できる（お買い上げ時の設定は［切］）。
手順⑤で［ディスクに録画中］が表示されている約12秒間に録音する。

ご注意

- 録画中の約3秒間には音声を記録できません。
- ［なめらかスロー録画］の画質は、通常撮影時より劣化します。

カメラコントロールダイヤルでマニュアル調節する（HDR-UX7）

よく使うメニュー項目をダイヤル操作に割り当てると便利です。
ここでは［フォーカス］（お買い上げ時の設定）が割り当てられているときの説明をします。

① マニュアルボタンを押して、手動にする。
押すたびに自動/手動が切り換わります。

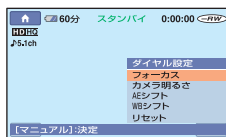
② カメラコントロールダイヤルを回して、手動でピントを合わせる。

設定できるメニュー項目は

下記から選択できます。

– [フォーカス](76ページ)
– [カメラ明るさ](77ページ)
– [AEシフト](63ページ)
– [WBシフト](64ページ)

メニュー項目を割り当てるには

① マニュアルボタンを数秒間押し続ける。
[ダイヤル設定]画面が表示される。

② カメラコントロールダイヤルを回して、割り当てたい項目を選ぶ。

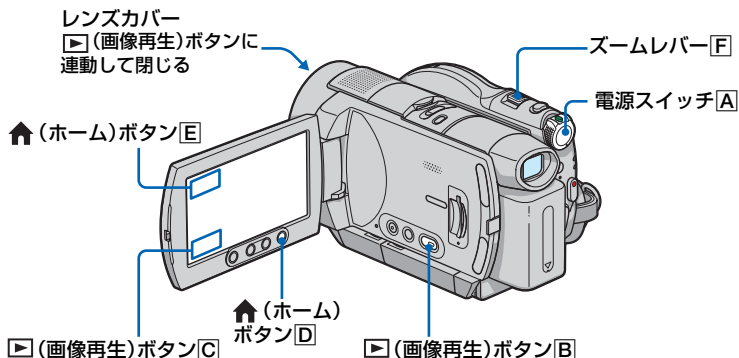
③ マニュアルボタンを押す。

ご注意

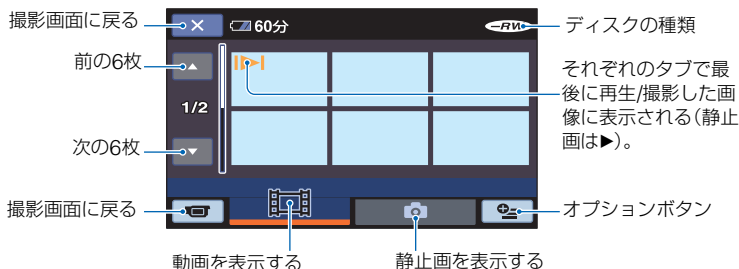
- いったん設定内容を固定したあと、別の項目の設定を行っても、先に行った設定の内容はそのまま保持されます。ただし、[AEシフト]を手動設定したあとで[カメラ明るさ]を設定した場合、[AEシフト]の効果は無効になります。
- 手順②で[リセット]を選択すると、手動設定した項目がすべてお買い上げ時の設定に戻ります。

ちょっと一言

- ダイヤル操作で設定する内容は、メニュー操作と同じです。
- ホームメニューの (設定)→[動画撮影設定]/[静止画撮影設定]→[ダイヤル設定]でメニュー項目を割り当てることもできます(66ページ)。

見る

1 **電源スイッチAをずらして本機の電源を入れる。**

2 **(画像再生)ボタンB(またはC)を押す。**

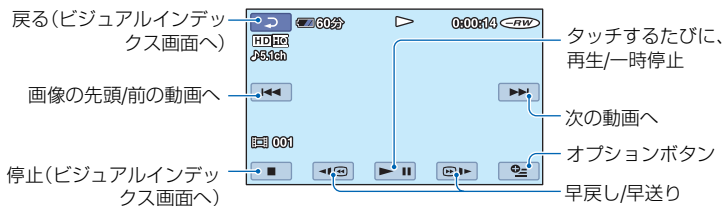
ビジュアルインデックス画面が表示されます(数秒かかります)。

ちょっと一言

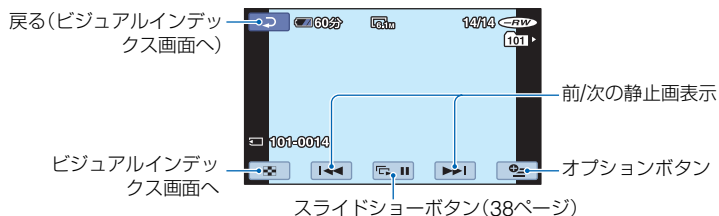
- ズームレバーFを動かすと、ビジュアルインデックス画面の表示枚数が6枚⇔12枚と切り換わります。ホームメニューの(設定)→[画像再生設定]→[表示枚数]でビジュアルインデックスに表示させる枚数を固定できます(69ページ)。

3 再生を始める。

動画のときは

タブをタッチして、見たい画像をタッチする。

選んだ動画から最後の動画まで再生されると、ビジュアルインデックス画面に戻ります。

静止画のときは

タブをタッチして、見たい画像をタッチする。

（ホーム）ボタンD（またはE）で再生モードに切り換えるには

ホームメニューの（画像再生）カテゴリー→[V.インデックス]をタッチする。

動画の音量を調節するには

（オプション）→タブ→[音量]をタッチし、[－]/[＋]をタッチして調節する。

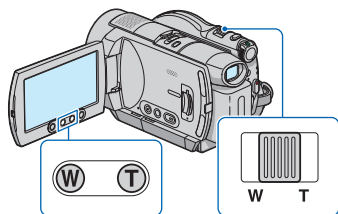
ちょっと一言

- 一時停止中に / をタッチすると、スロー再生が始まります。

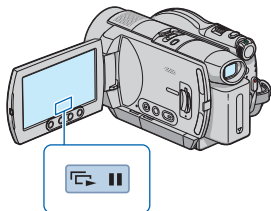
- 早戻し/早送りボタンは1度タッチすると約5倍速、2度タッチすると約10倍速（SD（標準）画質で記録したDVD+RWの場合は約8倍速）で動作します。

撮る/見る

再生ズームする

静止画を1.1～5倍の範囲でズームできます。
倍率はズームレバーまたは液晶画面下のズームボタンで調整します。

① 拡大したい静止画を表示する。
② T（望遠）で画像を拡大する。
画面に枠が表示される。
③ 画面中央に表示したい部分をタッチする。
タッチした部分が画面中央に移動する。
④ W（広角）/ T（望遠）で画像の大きさを調節する。

終了するには、[戻る]をタッチする。

静止画を連続再生する（スライドショー）

静止画再生画面で、[スライドショー]をタッチする。
選んだ画像からスライドショーが始まる。
中止するには、[スライドショー]をタッチする。
再開するときは、もう一度[スライドショー]をタッチする。

ご注意
- スライドショー再生中に再生ズームは使えません。

ちょっと一言
- [オプション]（オプション）→[再生]タブ→[スライドショー設定]で、スライドショーの繰り返し再生を設定できます（お買い上げ時は[入]）。

テレビにつないで見る

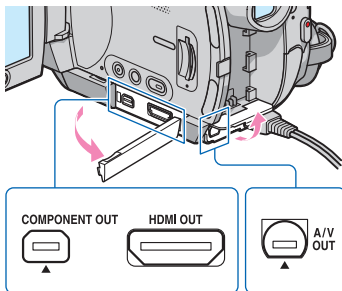
テレビの種類や接続する端子によって接続方法やテレビに映る画質（HD（ハイビジョン）/SD（標準））が異なります。
電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（17ページ）。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

操作の流れ

本機の液晶画面でテレビとの接続方法を確認できる[テレビ接続ガイド]を使うと、簡単に接続できます。

テレビの入力設定を切り換える。
詳しくは、つなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。
↓
[テレビ接続ガイド]に従って、本機とテレビを接続する。
↓
必要な出力設定を行う（40ページ）。

本機の端子について

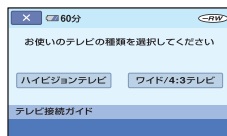
端子カバーを開けて接続してください。

最適な接続方法を選ぶ ーテレビ接続ガイド

お使いのテレビに合った接続方法を本機がアドバイスします。

1 **本機の電源を入れ、（ホーム）ボタンを押す。**

2 **（その他の機能）をタッチする。**

3 **[テレビ接続ガイド]をタッチする。**

4 **画面に表示される質問の答えにタッチする。**

質問に答えながら、本機とテレビを接続してください。

撮る/見る

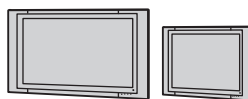
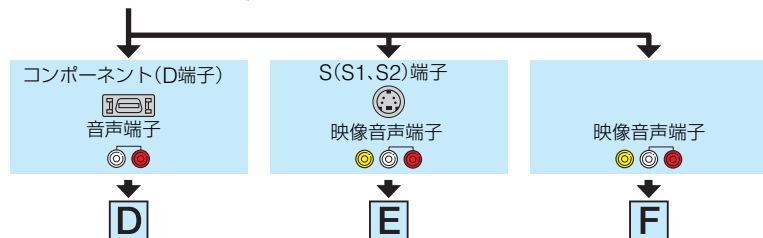
ハイビジョンテレビとの接続方法

記録画質がHD(ハイビジョン)のときはHD画質で、SD(標準)のときはSD画質で再生されます。

- D端子コンポーネントケーブルのみつないだ場合、音声は出力されません。音声の出力にはAV接続ケーブルも必要です。コンポーネント映像入力端子付近の音声端子(赤と白)につないでください。

- HDMIケーブルはHDMIロゴ(表紙参照)がついているものをお使いください。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機と接続機器の出力端子同士での接続はしないでください。故障の原因となります。

- コンポーネントケーブルのみつないだ場合、音声は出力されません。音声の出力にはAV接続ケーブルも必要です。コンポーネント映像入力端子付近の音声端子(赤と白)につないでください。

ハイビジョン非対応のワイドテレビ/4:3テレビとの接続方法

記録画質がHD(ハイビジョン)のときは変換してSD画質で、SD(標準)のときはSD画質で再生されます。

テレビ(ワイド/4:3)に合わせて画像の比率を変えるには

お使いになるテレビの比率に合わせて、[TVタイプ]を[16:9]または[4:3]に設定してください(71ページ)。

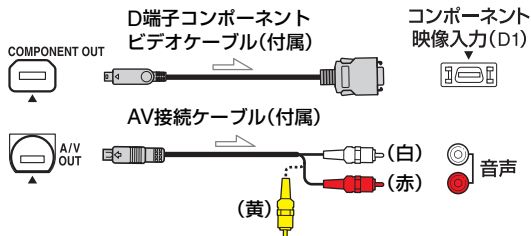
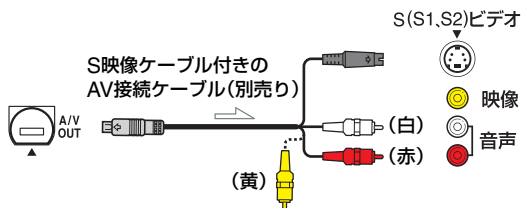
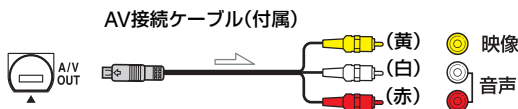
ご注意

- SD(標準)画質で記録して、ワイド信号非対応の4:3テレビで再生する場合は、撮影時にホームメニューの(設定)→[動画撮影設定]→[ワイド切換]→[4:3]に設定してから撮影してください(64ページ)。

次のページへつづく→

⇨：信号の流れ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	ホームメニューの設定

- D端子コンポーネントケーブルのみつないだ場合、音声は出力されません。音声の出力にはAV接続ケーブルも必要です。コンポーネント映像入力端子付近の音声端子（赤と白）につないでください。

- S（S1、S2）映像端子のみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するにはS映像ケーブル付きのAV接続ケーブルの白と赤のプラグも接続してください。
- AV接続ケーブル（接続 F ）に比べ、画像をより忠実に再現できます。
- 本機はS1映像端子対応のため、つなぐ端子がSまたはS2映像端子のときは画像が正しく表示されない場合があります。その場合、テレビの設定を変更することで改善されることがあります。テレビの取扱説明書もあわせてお読みください。

ビデオ経由でテレビにつなぐには

ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切り換えスイッチがある場合は「外部入力」(ビデオ1、ビデオ2など)に切り換える。

モノラルテレビ(音声端子がひとつ)のときは

AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)か赤いプラグ(右音声)のどちらかを音声入力へつなぐ。

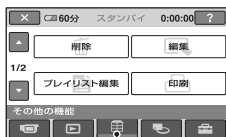
ご注意

- AV接続ケーブルで映像を出力すると、出力される画質はSD(標準)になります。
- x.v.Colorに対応したテレビで見るときは、あらかじめ[X.V.COLOR]を[入]にして撮影してください(64ページ)。再生時には、テレビ側の設定が必要になる場合があります。詳しくはテレビの取扱説明書をご確認ください。

ちょっと一言

- 画像を出力するときに、複数のケーブルでテレビをつないでいるときは、HDMI端子→コンポーネントビデオ端子→S(S1、S2)映像端子→映像/音声端子の順で優先されます。
- HDMI (High Definition Multimedia Interface)とは、テレビ接続機器のデジタル映像/音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI端子とテレビを1本のケーブルで接続することで、高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。

(その他の機能)カテゴリーでできること

本機でディスクや"メモリースティック デュオ"の画像の編集ができます。また、本機を他機につないで活用できます。

(その他の機能)カテゴリー

項目一覧

削除

ディスクや"メモリースティック デュオ"の画像を削除します(44ページ)。

編集

ディスクや"メモリースティック デュオ"の画像を編集します(46ページ)。

プレイリスト編集

プレイリストを作成、編集します(47ページ)。

印刷

PictBridgeプリンターに接続して、静止画をプリントします(50ページ)。

パソコン接続

本機とパソコンを接続します(81ページ)。

テレビ接続ガイド

テレビにつないで再生するときの最適なつなぎかたを本機が教えてくれます(39ページ)。

画像を削除する

ディスクや"メモリースティック デュオ"に記録された画像を本機で削除することができます。
あらかじめ、本機に画像を記録したディスク/"メモリースティック デュオ"を入れておいてください。

ご注意
- いったん削除した画像は元に戻せません。
- シンプル操作中は動画を削除できません。シンプル操作を解除してください。

ちょっと一言
- 1度に100個までの画像を選べます。
- 画像の再生画面から、(オプション)→タブ→[削除]で削除することもできます。

ディスクの動画を削除する

1 (ホーム)メニューの(その他の機能)→[削除]をタッチする。

2 [削除]をタッチする。

3 [削除]をタッチする。

4 削除したい画像をタッチする。

選んだ画像にが表示される。
画像を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るにはをタッチする。

5 OK→[はい]→OKをタッチする。

ディスク内のすべての動画を一括して削除するには

手順**3**で[全削除]→[はい]→[はい]→OKをタッチする。

最後に撮影した動画を削除するには

手順**3**で[最終シーン削除]→OK→[はい]→OKをタッチする。

SD(標準)画質のときは

- DVD-RW(VRモード)のときは、本機で自由にディスクの動画を削除できます。
- DVD-RWまたはDVD+RWのときは、[最終シーン削除]のみ行えます。

ご注意

- 編集中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。ディスクが壊れる恐れがあります。
- 削除した動画がプレイリスト(47ページ)に追加されている場合は、プレイリスト上の動画も削除されます。
- 不要な画像を削除してもディスクの空き容量がほとんど増えず、追加記録ができない場合があります。
- ディスクに記録されているすべての画像を削除して記録容量を元に戻す場合は、初期化します(58ページ)。

ちょっと一言

- 本機で撮影してディスクに記録された画像を「オリジナル」といいます。

"メモリースティック デュオ"の静止画を削除する

1 (ホーム)メニューの(その他の機能)→[削除]をタッチする。

2 [削除]をタッチする。

3 [削除]をタッチする。

4 削除したい画像をタッチする。

選んだ画像に✔が表示される。
選んだ画像を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るにはをタッチする。

5 OK→[はい]→OKをタッチする。

"メモリースティック デュオ"の静止画を全て削除するには

手順**3**で[全削除]→[はい]→[はい]→OKをタッチする。

ご注意

- 次の場合は削除できません。
  - "メモリースティック デュオ"が誤消去防止状態になっているとき(103ページ)
  - 他機で画像にプロテクト(誤消去防止)をかけているとき

ちょっと一言

- "メモリースティック デュオ"内のすべてのデータを削除するには、初期化します(59ページ)。

画像を分割する

ご注意

- シンプル操作中は動画の分割はできません。シンプル操作を解除してください。

1 (ホーム)メニューの (その他の機能)→[編集]をタッチする。

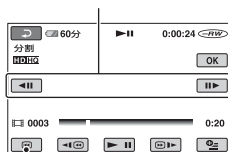
2 [分割]をタッチする。

3 分割したい動画をタッチする。

選んだ動画が再生される。

4 分割したいところで ▶II をタッチする。

再生が一時停止する。

▶II で分割位置を決定してから微調整をする

選んだ動画の先頭に戻る

▶II を押すたびに、再生と一時停止が切り換わる。

5 OK→[はい]→OK をタッチする。

ご注意

- いったん分割した動画は元に戻せません。
- 編集中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。ディスクが壊れる恐れがあります。
- SD(標準)画質では、DVD-RW(VRモード)のときのみ操作できます。
- 分割した動画がプレイリストに追加されていた場合でも、プレイリスト上の動画は分割されません。
- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、▶II で決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。

プレイリストを作る

DVD -RW DVD +RW

「プレイリスト」とは、オリジナルの動画の中から、好みのものを選んで作成したリストのことです。
プレイリスト上で画像を編集しても、オリジナルの画像には影響ありません。
あらかじめ、本機に画像を記録したディスクを入れておいてください。

ご注意

- SD（標準）画質では、DVD-RW（VRモード）のときのみ操作できます。
- シンプル操作中はプレイリストへの追加、編集はできません。シンプル操作を解除してください。

1 （ホーム）メニューの（その他の機能）→［プレイリスト編集］をタッチする。

2 ［追加］をタッチする。

3 追加したい画像をタッチする。

選んだ画像に✔が表示される。
画像を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るには［↩］をタッチする。

4 ［OK］→［はい］→［OK］をタッチする。

ディスク内のすべての動画をプレイリストに追加するには

手順**2**で［全追加］→［はい］→［はい］→［OK］をタッチする。

ご注意

- 編集中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。ディスクが壊れる恐れがあります。

ちょっと一言

- プレイリストには最大999個の動画を追加できます。
- 画像の再生画面から、（オプション）の［へ追加］で追加することもできます。

プレイリストを再生する

あらかじめ、プレイリストに画像を追加したディスクを入れておいてください。

1 （ホーム）メニューの（画像再生）→［プレイリスト］をタッチする。

プレイリストに追加された画像が表示される。

2 再生を始めたい画像をタッチする。

選んだ画像からプレイリストの最後まで再生され、プレイリスト画面に戻る。

編集する

次のページへつづく→

追加した画像をプレイリストから外すには

① (ホーム)メニューの(その他の機能)→[プレイリスト編集]をタッチする。

② [消去]をタッチする。
すべての画像を一括して外すには、[全消去]→[はい]→[はい]→OKをタッチする。

③ プレイリストから外したい画像をタッチする。

選んだ画像に✔が表示される。
画像を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るにはをタッチする。

④ OK→[はい]→OKをタッチする。

ちょっと一言
- プレイリストに追加した画像を外しても、オリジナルの画像には影響ありません。

追加した画像を並べ換えるには

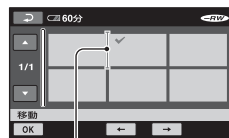
① (ホーム)メニューの(その他の機能)→[プレイリスト編集]をタッチする。

② [移動]をタッチする。

③ 移動させたい画像をタッチする。

選んだ画像に✔が表示される。
画像を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るにはをタッチする。

④ OKをタッチする。

⑤ [←]/[→]で移動先を選ぶ。

移動先表示

画像を確認するには、その画像を長押しする。

⑥ OK→[はい]→OKをタッチする。

ちょっと一言
- 複数の画像を選んだ場合は、プレイリスト上で並んでいた順番で移動します。

追加した動画を分割するには

① (ホーム)メニューの(その他の機能)→[プレイリスト編集]をタッチする。

② [分割]をタッチする。

③ 分割したい動画をタッチする。
選んだ動画が再生される。

④ 分割したいところで►IIをタッチする。
再生が一時停止する。

►IIを押すたびに、再生と一時停止が切り換わる。

⑤ OK→[はい]→OKをタッチする。

ご注意
- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、►IIで決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。

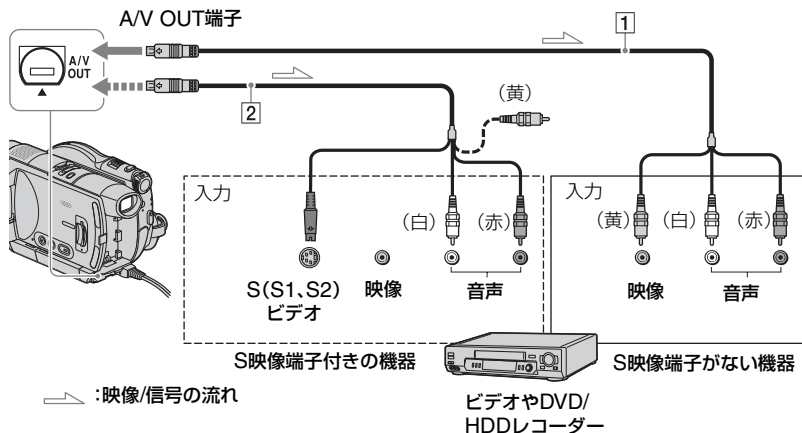
ちょっと一言
- プレイリストに追加した動画を分割しても、オリジナルの動画は分割されません。

ビデオ、DVD/HDDレコーダーへダビングする

本機と他のビデオ、DVD/HDDレコーダーを接続すると、本機の画像を他のディスクやビデオテープへダビングできます。下図のどちらかの方法で接続してください。
本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（17ページ）。
また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- **HD（ハイビジョン）画質で記録された画像は、SD（標準）画質でダビングされます。**
- アナログデータを経由してダビングするため、画質が劣化することがあります。
- HD（ハイビジョン）画質で記録したディスクをコピーするには、付属のアプリケーションソフトをインストールしたパソコンをお使いください（83ページ）。

編集する

1 **AV接続ケーブル（付属）**
他機の入力端子につなぎます。

2 **S映像ケーブル付きのAV接続ケーブル（別売り）**
S（S1、S2）映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のAV接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ（左右音声端子）とS映像プラグ（S映像端子）のみ接続し、黄色いプラグ（映像端子）は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

ご注意

- HDMIケーブルを使ってダビングすることはできません。
- 接続した機器の画面にカウンターなどの表示を出さない場合は、ホームメニューの（設定）→[出力設定]→[画面表示出力]→[パネル]（お買い上げ時の設定）にしてください（72ページ）。
- 日時やカメラデータをダビングしたいときは、それらを表示させてください（69ページ）。
- 他機がモノラル（ひとつの音声入力/出力）の場合は、AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ（左音声）または赤いプラグ（右音声）を音声入力へつなぎます。

次のページへつづく➡

1 **本機に撮影済みのディスクを入れる。**

2 **本機の電源を入れ、▶（画像再生）ボタンを押す。**

再生機器（テレビなど）に合わせて、[TVタイプ]を設定する（71ページ）。

3 **録画側のビデオは録画用カセットテープ、DVDレコーダーは録画用ディスクをセットする。**

入力切り換えスイッチがある場合は、「入力」にする。

4 **本機と録画側の機器（ビデオ、DVD/HDDレコーダー）を、AV接続ケーブル（1、付属）またはS映像端子付きAV接続ケーブル（2、別売り）でつなぐ。**

録画側の機器の入力端子につなぐ。

5 **本機で再生を始め、録画側の機器で録画を始める。**

詳しくは、録画側の機器の取扱説明書をご覧ください。

6 **ダビングが終わったら、録画側の機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。**

記録した静止画を印刷する（PictBridge対応プリンター）

PictBridge対応のプリンターを使えば、本機で撮影した静止画をパソコンを使わずに印刷できます。

PictBridge

本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（17ページ）。
あらかじめ、本機に静止画を記録した"メモリースティック デュオ"を入れて、プリンターの電源を入れておいてください。

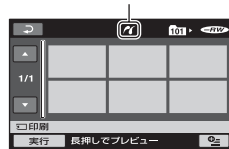
本機とプリンターを接続する

1 **本機の電源を入れる。**

2 **USBケーブル（付属）で本機の ψ（USB）端子とプリンターをつなぐ（115ページ）。**

本機の画面に[USB機能選択]画面が表示される。

3 **[印刷]をタッチする。**

本機とプリンターの接続が完了すると画面に （PictBridge接続中）が表示される

静止画選択画面が表示される。

ご注意

- PictBridge規格未対応機器との接続は、動作保証いたしません。

印刷する

1 印刷したい画像をタッチする。

選んだ画像に✔が表示される。画像を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るには、[↩]をタッチする。

2 (オプション)ボタンをタッチして次の設定をしたら、[OK]をタッチする。

[印刷部数]:1枚の静止画を印刷する部数。最大20部まで印刷部数を設定できる。

[日付/時刻]:[年月日]、[日時分]または[切](日付/時刻印刷なし)から選ぶ。

[用紙サイズ]:印刷用紙のサイズを選ぶ。

変更しないときは、手順**3**に進む。

3 [実行]→[はい]→[OK]をタッチする。

画像選択画面に戻る。

印刷を終了するには

画像選択画面で[↩]をタッチする。

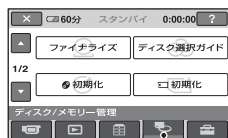
ご注意

- プリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 画面に が表示中に次の操作をすると、正常な処理が行われません。
  - 電源スイッチを切り換える
  - [▶](画像再生)ボタンを押す
  - プリンターからUSBケーブルを抜く
  - 本機から"メモリースティック デュオ"を抜く
- プリンターが動作しなくなった場合は、USBケーブルを抜いてプリンターの電源を入れ直してから、操作をやり直してください。
- プリンターが対応していない用紙サイズは選択できません。
- プリンターによっては、画像の上下左右が切れる場合があります。特に画像がワイド(16:9)のときは、左右が大きく切れる場合があります。
- プリンターによっては、日時印刷に対応していないものがあります。プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- 次の画像は印刷できないことがあります。
  - パソコンで編集した画像
  - 他機で撮影した画像
  - ファイルサイズが3MBより大きい画像
  - 画素数が2848×2136より大きい画像

ちょっと一言

- PictBridge(ピクトブリッジ)とは、カメラ映像機器工業会(CIPA)で制定された統一規格のことです。メーカーや機種に関係なく、ビデオカメラやデジタルスチルカメラを直接プリンターに接続し、パソコンを使わずに画像を印刷できます。
- 静止画の再生画面から、(オプション)→[▶]タブ→[印刷]で印刷することもできます。

(ディスク/メモリー管理)カテゴリーでできること

ディスクや"メモリースティック デュオ"に関するさまざまな操作ができます。

(ディスク/メモリー管理)カテゴリー

項目一覧

ファイナライズ

ディスクをファイナライズします(52ページ)。

ディスク選択ガイド

最適なディスクの種類を本機が教えてくれます(57ページ)。

初期化

ディスクをフォーマットして再利用できます(58ページ)。

初期化

"メモリースティック デュオ"をフォーマットして再利用できます(59ページ)。

ファイナライズ解除

ファイナライズ後に追加記録するために、解除します(60ページ)。

ディスク情報

お使いのディスクの情報が表示されます。

ディスクを他機で見られるようにする(ファイナライズ)

「ファイナライズ」とは、画像を記録したディスクを、他機やパソコンのDVDドライブなどで再生できるようにする互換処理です。
ファイナライズ時に、画像を一覧表示できるディスクメニューのスタイルを選ぶことができます(55ページ)。

HD(ハイビジョン)画質のディスクのときは

どの種類のディスクもファイナライズをする必要があります。

SD(標準)画質のディスクのときは

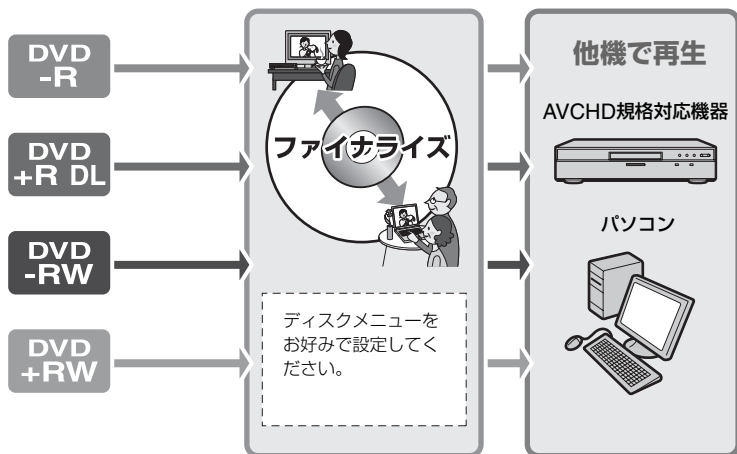
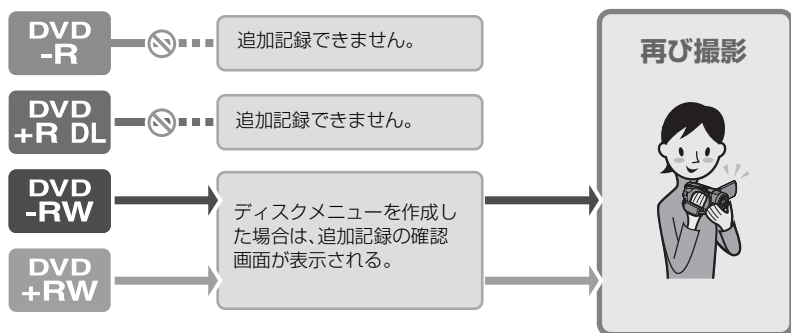
- DVD-R/DVD+R DL/DVD-RWはファイナライズが必要です。
- DVD+RWは、次のときにファイナライズが必要になります。
  - DVDメニューを作成したいとき
  - パソコンのDVDドライブで再生したいとき
  - 記録時間が短いとき(HQモードで5分以下、SPモードで8分以下、LPモードで15分以下)

ご注意

- すべての機器での再生を保証するものではありません。
- HD(ハイビジョン)画質で記録したディスクを再生できるのは、AVCHD規格対応機器のみです(56ページ)。一般のDVD機器では再生できません。
- SD(標準)画質のとき、「ディスクメニュー」は「DVDメニュー」となります。
- DVD-RW(VRモード)ではDVDメニューを作成できません。

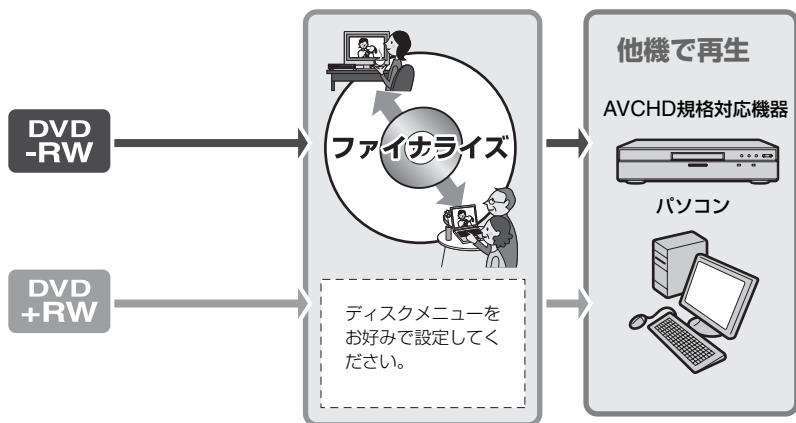
操作の流れ

ここでは、HD(ハイビジョン)画質で記録したディスクの操作の流れを説明します。

初めて他機で再生するときは(54ページ)

ファイナライズ後のディスクに追加記録するときは(60ページ)

ご注意

- シンプル操作中は、DVD-RW、DVD+RWをお使いのときでも追加記録ができません。シンプル操作を解除してください。

次のページへつづく→

追加記録後に再び他機で再生する場合は(52ページ)

ファイナライズする

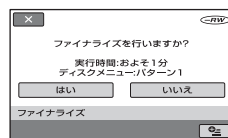
ご注意

- ファイナライズにかかる時間は約1分から最大数時間です。ディスクの記録容量が少ないほど(録画時間が短いほど)、かかる時間は長くなります。
- 途中で電源が切れないように、必ずACアダプターを使ってください。
- 両面ディスクの場合は、ファイナライズは各面で行ってください。

1 本機を安定したところに置き、ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ。

2 電源スイッチをずらして、電源を入れる。

3 ファイナライズしたいディスクを入れる。

4 (ホーム)メニューの(ディスク/メモリー管理)→[ファイナライズ]をタッチする。

ディスクメニューのスタイルを選ぶには、(オプション)→[ディスクメニュー]をタッチする(55ページ)。
行わないときは手順**5**へ進む。その場合は、[パターン1](お買い上げ時の設定)でファイナライズされる。

5 [はい]→[はい]をタッチする。

ファイナライズが始まる。

6 [完了しました]と表示されたら、OKをタッチする。

ご注意

- ファイナライズ中は、本機に振動や衝撃を与えたり、ACアダプターを抜かないようにしてください。
  やむを得ずACアダプターを抜くときは、本機の電源を切り、電源ランプが消えてから抜いてください。
  再びACアダプターを接続して電源を入れるとファイナライズが再開されます。この場合、ファイナライズが完了するまでディスクを取り出せません。
- 下記のディスクで撮影画面にしているときは、ファイナライズ完了後⏏が点滅します。ディスクを取り出してください。
  - HD(ハイビジョン)画質で記録しているとき
  - SD(標準)画質で、DVD-RW(VRモード)以外のとき

ちょっと一言

- ディスクメニュー(またはDVDメニュー)を作成する設定にした場合は、ファイナライズ中にディスクメニュー画面が一時的に表示されます。
- ファイナライズ後はディスク表示/記録フォーマット表示の下に、▁▁▁が付きます。例えば、DVD-RWでは-RWとなります。

ディスクメニューのスタイルを選ぶには

① 手順**4**で(オプション)→[ディスクメニュー]をタッチする。

② [←]/[→]で4種類の中から好みのパターンを選ぶ。

ディスクメニューを作成しないときは、[メニューなし]を選ぶ。

③ OKをタッチする。

ご注意

- シンプル操作のとき、ディスクメニューは[パターン1]に固定されます。
- SD(標準)画質のとき、DVD-RW(VRモード)では設定できません。

記録メディアを使いこなす

他機で再生する

プレーヤーで再生する

ディスクに記録した画質(HD(ハイビジョン)/SD(標準))によって、再生できる機器が異なります。お使いの機器の取扱説明書でご確認いただくか、お買い上げ店にお問い合わせください。

HD(ハイビジョン)画質で記録したディスクは

AVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。
DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、HD(ハイビジョン)画質で記録したディスクを再生できません。
また、これらの機器にAVCHD規格で記録したHD(ハイビジョン)画質のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。

SD(標準)画質で記録したディスクは

DVD機器で再生できます。ただし、すべての機器での再生を保証するものではありません。
ソニー製品との互換性は、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/products/Consumer/dvdguide/

ご注意

- 必ずディスクをファイナライズしてください。ただし、DVD+RWにSD(標準)画質で記録したときは、ファイナライズせずに再生できます(52ページ)。
- 8cm CD用のアダプターを使わないでください。故障の原因になります。
- 縦置きの機器は、ディスクが水平になるように設置して再生してください。
- 一度DVDプレーヤーやDVDレコーダーに入れたAVCHD規格のディスクは、本機での正常な記録再生ができなくなる可能性があります。再生できる機器について詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cam/support/
- 機器によって、再生できなかったり、場面のつなぎ目で画像が一時停止したり、一部の機能が使えなかったりする場合があります。

ちょっと一言

- 字幕表示に対応している機器では、その機能を利用して、撮影した日時を字幕の位置に表示させることができます(65ページ)。機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。
- ディスクメニュー(52ページ)を作成したときは、メニュー画面で見たい画像を選べます。
- HD(ハイビジョン)画質で記録したディスクを他機で再生するとき、プレイリストも再生できます(47ページ)。
あらかじめ本機でプレイリストを作成しておき、ディスクメニューの[プレイリスト]を選んで再生します。

パソコンで再生する

HD(ハイビジョン)画質で記録したディスクは

CD-ROM(付属)の「Picture Motion Browser」をインストールしたパソコンで再生できます(83ページ)。

SD(標準)画質で記録したディスクは

DVD再生ソフトウエアがインストールされているパソコンで再生できます。
ファイナライズ済みのディスクをDVDドライブに入れて、DVD再生ソフトウェアを使って再生してください。

ご注意

- 必ずファイナライズを行ってください(52ページ)。ファイナライズせずにディスクを再生すると、故障の原因になります。
- パソコンのDVDドライブが8cm DVDに対応している必要があります。
- 8cm CD用のアダプターを使わないでください。故障の原因になります。
- パソコンによっては、ディスクを再生できなかったり、画像がなめらかにならない場合もあります。

- ディスクに記録されている動画ファイルを、パソコンへ直接コピーして再生や編集をすることはできません。

ちょっと一言

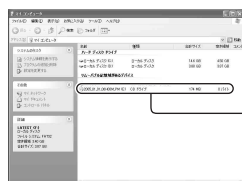
- 詳しい操作方法は、CD-ROM（付属）の「ファーストステップガイド」をご覧ください（85ページ）。

SD（標準）画質で記録したディスクのボリュームラベルには

ディスク使用開始日時が記入されます。

<例>

2007年1月1日午後6時に使用を開始した場合のボリュームラベル：

2007_01_01_06H00M_PM

ちょっと一言

- SD（標準）画質のディスク内の画像は、下記のフォルダに保存されています。
  – DVD-RW（VRモード）のとき：DVD_RTAVフォルダ
  – 上記以外のディスク、モードのとき：VIDEO_TSフォルダ

最適なディスクを決める－ディスク選択ガイド

画面の質問に答えていくと、ご希望のディスクの種類がわかります。

1 (ホーム)メニューの（ディスク/メモリー管理）をタッチする。

2 [ディスク選択ガイド]をタッチする。

3 質問の答えをタッチする。

繰り返すと、最適のディスクがわかります。

[ディスク選択ガイド]で選んだディスクを本機に入れると、選択した設定で初期化できます。

画像をすべて削除する（初期化）

ディスクを初期化する

DVD -RW　DVD +RW

「初期化」とは、記録した画像をすべて削除してディスクの記録容量を元に戻し、再び書き込み可能にすることです。

DVD-R/DVD+R DLは、再利用するための初期化はできません。新しいディスクと取り換えてください。

すでにファイナライズしているディスクを初期化した場合は

ファイナライズされた状態のまま、すべての画像が削除されます。本機の画面には-RW、+RWが表示されます。AVCHD規格対応のプレーヤーなどで見るときは再びファイナライズする必要はありません。*

SD（標準）画質のディスクを初期化したときは

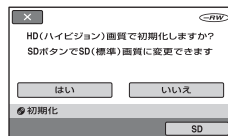
- DVD-RW（VIDEOモード）のときは、未ファイナライズの状態になります。他機で見るときは、再びファイナライズが必要です。
- DVD-RW（VRモード）、DVD+RWのときは、ファイナライズされた状態のまま、すべての画像が削除されます。本機の画面には-RW VR、+RWが表示されます。他機で見るときは再びファイナライズする必要はありません。*

* DVD+RWまたはHD（ハイビジョン）画質のDVD-RWで、ディスクメニュー（DVDメニュー）を作成したいときは、再びファイナライズが必要です（52ページ）。

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ。

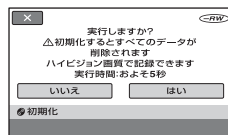
2 本機の電源を入れる。

3 初期化したいディスクを入れる。

4 (ホーム)メニューの（ディスク/メモリー管理）→[初期化]をタッチする。

ご注意

- 前回初期化した画質がSD（標準）のときは違う質問が表示されます。本機の画面に従って初期化してください。

5 [はい]をタッチする。

SD（標準）画質で記録するときは、[SD]をタッチする。

ご注意

- 記録方式をディスクの途中で変更することはできません。
- AVCHD規格/DVD規格について詳しくは、9ページをご覧ください。

6 画面に表示される質問の答えをタッチする。

選んだ記録画質や記録フォーマットでディスクの初期化が完了して、撮影を始められます。

SD(標準)画質のときは

- DVD-RWのときは、記録モードが[VIDEOモード]または[VRモード]になります(11ページ)。シンプル操作(26ページ)で初期化すると、[VIDEOモード]に固定されます。
- DVD+RWのときは、動画の比率を[16:9ワイド]または[4:3]から選択します。

ご注意

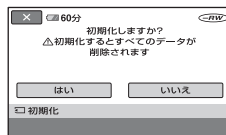
- 途中で電源が切れないように、必ずACアダプターを使ってください。
- 初期化中は本機に振動や衝撃を与えたり、ACアダプターを抜かないようにしてください。
- 両面ディスクの場合は、各面で初期化を行ってください。各面を別の記録画質、モードで初期化することができます。
- DVD+RWでSD(標準)画質のときは、設定した動画の比率をディスクの途中で変更できません。変更するためには再び初期化してください。
- 他機でプロテクト(誤消去防止)をかけたディスクは初期化できません。プロテクトをかけた機器でプロテクトを解除してから初期化してください。

"メモリースティック デュオ"を初期化する

記録されているデータはすべて削除されます。

1 本機の電源を入れる。

2 初期化したい"メモリースティック デュオ"を入れる。

3 (ホーム)メニューの(ディスク/メモリー管理)→[初期化]をタッチする。

4 [はい]→[はい]をタッチする。

5 [完了しました]と表示されたら、OKをタッチする。

ご注意

- 他機でプロテクト(誤消去防止)をかけた静止画も削除されます。
- [実行中]が表示されているとき、次の操作はしないでください。
  - 電源スイッチまたはボタン操作
  - "メモリースティック デュオ"の取り出し

ファイナライズ後に本機で追加記録する

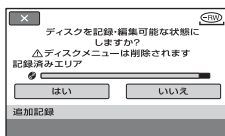
DVD -RW　DVD +RW

DVD-RW/DVD+RWでは、次の操作を行えば、ファイナライズしたディスクに追加記録できます。

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ。

2 電源スイッチをずらして、（動画）ランプを点灯させる。

3 ファイナライズ済みのディスクを入れる。

追加記録の確認画面が表示される。

4 [はい]→[はい]をタッチ。

5 [完了しました]と表示されたら、OKをタッチする。

SD(標準)画質のときは

- DVD-RW(VRモード)はそのまま追加記録できます。
- DVD-RW(VIDEOモード)は、ホームメニューの（ディスク/メモリー管理）→[ファイナライズ解除]を行ってください。
- DVD+RWのときに、ファイナライズでDVDメニュー(52ページ)を作成した場合は、電源スイッチをずらして（動画）ランプを点灯させると追加記録の確認画面が表示されます。

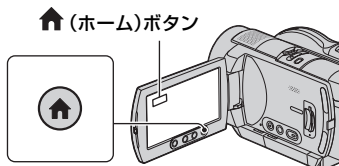
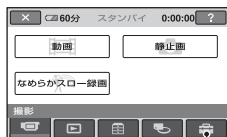
ご注意

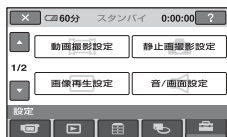
- 途中で電源が切れないように、必ずACアダプターを使ってください。
- 操作中は本機に振動や衝撃を与えたり、ACアダプターを抜かないようにしてください。
- ファイナライズで作成したディスクメニューは削除されます。
- 両面ディスクの場合は、各面で操作を行ってください。
- DVD-R、DVD+R DLは、ファイナライズ後に追加記録できません。
- シンプル操作中は、ファイナライズ後に追加記録できません。シンプル操作を解除してください。

ホームメニューの（設定）カテゴリーでできること

お買い上げ時に設定されている撮影機能や本機の動作を、お好みに合わせて変更できます。

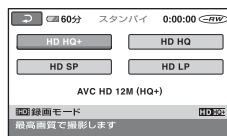
設定のしかた

1 本機の電源を入れ、（ホーム）ボタンを押す。

（設定）カテゴリー

2 （設定）をタッチする。

3 希望する設定項目をタッチする。

画面にないときは、▲/▼をタッチして、表示させる。

4 希望の項目をタッチする。

画面にないときは、▲/▼をタッチして、表示させる。

5 希望の設定にして、OK をタッチする。

(設定)カテゴリーの項目一覧

動画撮影設定(63ページ)

項目	ページ
HD 録画モード	63
SD 録画モード	63
AEシフト*1	63
WBシフト*1	64
NIGHTSHOT ライト	64
ワイド切換	64
デジタルズーム	64
手ブレ補正	64
オートスロシャッタ	64
X.V.COLOR	64
ガイドフレーム	65
ゼブラ	65
残量表示	65
プレーヤ用日付記録	65
フラッシュレベル	66
赤目軽減	66
ダイヤル設定*1	66

静止画撮影設定(66ページ)

項目	ページ
画像サイズ*2	66
画質	68
ファイルナンバー	68
AEシフト*1	63
WBシフト*1	64
NIGHTSHOT ライト	64
手ブレ補正*1	64
ガイドフレーム	65
ゼブラ	65
フラッシュレベル	66
赤目軽減	66
ダイヤル設定*1	66

画像再生設定(69ページ)

項目	ページ
日時/データ表示	69
表示枚数	69

音/画面設定*3(70ページ)

項目	ページ
音量*2	70
操作音*2	70
パネル明るさ	70
パネルBLレベル	70
パネル色の濃さ	71
VFバックライト	71

出力設定(71ページ)

項目	ページ
TVタイプ	71
画面表示出力	72
コンポーネント出力	72

時計設定(72ページ)

項目	ページ
日時あわせ*2	20
エリア設定	72
サマータイム	72

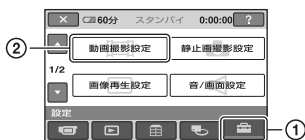
一般設定(73ページ)

項目	ページ
デモモード	73
録画ランプ	73
キャリブレーション	106
自動電源オフ	73
リモコン	73

*1 HDR-UX7

*2 シンプル操作(26ページ)中に設定できる項目です。

*3 シンプル操作中は[音設定]になります。

動画撮影設定
（動画を撮影するときの設定）

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

▶ 設定方法は
(ホームメニュー)→61ページ
(オプションメニュー)→74ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

HD 録画モード

HD(ハイビジョン)画質で動画を撮影するときの画質を4段階から選べます。

HD HQ+
最高画質で録画する。
(AVC HD 12M (HQ+))

HD HQ
高画質で録画する。
(AVC HD 9M (HQ))

▶HD SP
標準画質で録画する。
(AVC HD 7M (SP))

HD LP
長時間録画する。
(AVC HD 5M (LP))

ご注意
- LPモードで録画した画像を再生すると、動きの速い映像などでは画像の細部が多少荒くなることがあります。

ちょっと一言
- 各モードの録画時間の目安は、12ページをご覧ください。

SD 録画モード

SD(標準)画質で動画を撮影するときの画質を3段階から選べます。

SD HQ
高画質で録画する。
(SD 9M (HQ))

▶SD SP
標準画質で録画する。
(SD 6M (SP))

SD LP
長時間録画する。
(SD 3M (LP))

ご注意
- LPモードで録画した画像を再生すると、多少画質が荒くなり、動きの速い映像ではブロックノイズが出ることがあります。

ちょっと一言
- 各モードの録画時間の目安は、12ページをご覧ください。

AEシフト(HDR-UX7)

[入]にすると、[－](暗く)/[＋](明るく)で露出をお好みに合わせて調節できます。
お買い上げ時の設定以外にすると、AS と設定した数値が表示されます。

ちょっと一言
- 白い被写体や逆光のときは[＋]、黒い被写体や暗い場所のときは[－]をタッチすることをおすすめします。
- [カメラ明るさ]が[オート]のときに使うと、明るさを明るめ/暗めに設定できます。
- カメラコントロールダイヤルで、手動で設定を調節することもできます(34ページ)。

WBシフト（ホワイトバランスシフト）（HDR-UX7）

［入］にすると、[－]/[＋]でホワイトバランスをお好みに合わせて調節できます。お買い上げ時の設定以外にすると、WS と設定した数値が表示されます。

ちょっと一言
- 数値を下げると画像が青味がかり、数値を上げると赤味がかります。
- カメラコントロールダイヤルで、手動で設定を調節することもできます（34ページ）。

NIGHTSHOT ライト

NightShotや［SUPER NIGHTSHOT］撮影時に赤外線を発光するライトで、よりはっきりとした画像を記録できます。
お買い上げ時は［入］に設定されています。

ご注意
- 赤外線発光部を指などで覆わないでください。
- コンバージョンレンズ（別売り）は外してください。
- ライトが届く範囲は約3メートルです。

ワイド切換

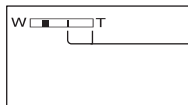
SD（標準）画質で記録するときに、つなぐテレビの画像の比率に合った画像サイズで撮影できます。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

▶16:9 ワイド
ワイド（16:9）テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

4:3（4:3）
4:3テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

ご注意
- 再生時に接続するテレビに合わせて［TVタイプ］を正しく設定してください（71ページ）。

デジタルズーム

撮影時に、10倍光学ズーム（お買い上げ時の設定）を超えてデジタルズームになったときの最大倍率を設定します。デジタル処理のため画質は劣化します。

▶切
10倍光学ズームのみ

20×
10倍光学ズーム＋最大20倍までのデジタルズーム

80×（HDR-UX5）
10倍光学ズーム＋最大80倍までのデジタルズーム

手ブレ補正

お買い上げ時の設定は［入］のため、手ブレ補正を使って撮影できます。コンバージョンレンズ（別売り）や三脚を利用するときは、［切］（ ）にすると自然な画像になります。

オートスロシャッタ（オートスローシャッター）

暗い場所で撮影するときに自動的に1/30までシャッタースピードが遅くなります。
お買い上げ時は［入］に設定されています。

X.V.COLOR

［入］にして撮影すると、より広い色域で記録できます。今までは表現できなかった鮮やかな花の色や、南国の海の美しい青緑色

などを、より忠実に再現することが可能になります。

ご注意

- x.v.Colorに対応したテレビで再生するときのみ、あらかじめ[入]にして撮影してください。それ以外のときは[切](お買い上げ時の設定)にしてください。
- [入]にして撮影した画像をx.v.Colorに非対応のテレビで再生すると、色が正しく再現されない場合があります。
- 次のとき[X.V.COLOR]は設定できません。
  – HD(ハイビジョン)画質で初期化したディスクが入っていないとき
  – 動画を撮影中

ガイドフレーム

[入]にすると、フレームを表示して、被写体が水平、垂直になっているかを確認できます。
フレームは記録されません。画面表示/バッテリーインフォボタンを押すと、フレームを消せます。

ちょっと一言

- ガイドフレームの交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。

ゼブラ

画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル部分にしま模様が表示されます。明るさを調節するときの目安にすると便利です。お買い上げ時の設定以外にすると、▧が表示されます。ゼブラは記録されません。

▶切
表示しない。

70
輝度レベルが約70IREの部分に表示

100
輝度レベルが約100IRE以上の部分に表示

ご注意

- 100IRE以上の部分は白とびすることがあります。

ちょっと一言

- IREとは輝度レベルの単位です。

残量表示

▶オート
次のときにディスク残量を約8秒間表示する。
– 電源スイッチを(動画)にした状態でディスク残量を認識したとき
– ディスクを入れ電源スイッチを(動画)にした状態で、画面表示/バッテリーインフォボタンを押して、画面表示を非表示→表示に切り換えたとき
– ホームメニューで動画撮影画面に切り換えたとき

入
ディスク残量を常に表示する。

ご注意

- 動画の撮影可能時間が5分以下になったときは、常に表示されます。

プレーヤ用日付記録

[入](お買い上げ時の設定)に設定すると、字幕表示機能に対応した機器などでディスクを再生するときに、撮影時の日付時刻を表示させることができます。再生機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- HD(ハイビジョン)画質で記録したディスクはAVCHD規格対応機器でのみ再生できます(56ページ)。

次のページへつづく➡

フラッシュレベル

本機の内蔵フラッシュ、または本機に対応している外付けフラッシュ(別売り)を使って静止画を撮影するときに設定します。

明るい(⚡+)
発光量が増える。

▶ **ノーマル(⚡)**

暗い(⚡−)
発光量が減る。

赤目軽減

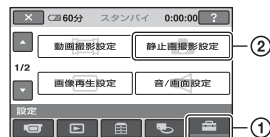
本機の内蔵フラッシュ、または本機に対応している外付けフラッシュ(別売り)を使って静止画を撮影するときに設定します。
撮影前に予備発光して、目が赤く光るのを抑制します。
[入]に設定して⚡(フラッシュ)ボタン(32ページ)を繰り返し押し、お好みの設定を選ぶ。

(自動赤目軽減):自動でフラッシュ撮影するときのみ撮影前に予備発光し、撮影時に発光する。
↓
⚡(強制赤目軽減):常に予備発光し、撮影時に発光する。
↓
(発光禁止):常に発光しない。

ご注意
- 赤目軽減で撮影しても、効果が現れにくいことがあります。

ダイヤル設定(HDR-UX7)

カメラコントロールダイヤルに割り当てる項目を選択できます。詳しくは34ページをご覧ください。

静止画撮影設定
(静止画を撮影するときの設定)

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

設定方法は
(ホームメニュー)→61ページ
(オプションメニュー)→74ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

画像サイズ

HDR-UX5

▶ 4.0M(4.0M)
鮮明な画像を撮影する。

3.0M(3.0M)
鮮明な画像をワイド(16:9)で撮影する。

1.9M(1.9M)
比較的きれいな画像をたくさん撮影する。

VGA(0.3M)(VGA)
たくさんの画像を撮影する。

HDR-UX7

▶ 6.1M(6.1M)
鮮明な画像を撮影する。

4.6M(4.6M)
鮮明な画像をワイド(16:9)で撮影する。

3.1M(3.1M)
比較的きれいな画像をたくさん撮影する。

VGA(0.3M)(VGA)
たくさんの画像を撮影する。

ご注意

- 静止画撮影画面のときのみ設定できます。
- ワイド（16:9）で撮影した静止画をお店でプリントするときは、注文時に「ハイビジョンサイズ」とご指定ください。ご指定がない場合、画像の左右が切れてプリントされることがあります。

“メモリースティック デュオ”の容量（MB）と撮影可能枚数（枚）

電源スイッチが（静止画）のとき

HDR-UX5

	4.0M 2304×1728	3.0M 2304×1296	1.9M 1600×1200	VGA 640×480
64MB	32	42	65	390
	81	105	160	980
128MB	64	85	130	780
	160	215	325	1970
256MB	115	150	235	1400
	295	395	590	3550
512MB	235	310	480	2850
	600	800	1200	7200
1GB	480	640	980	5900
	1200	1600	2450	14500
2GB	990	1300	2000	12000
	2500	3350	5000	30000
4GB	1950	2600	3950	23500
	4900	6600	9500	59000

HDR-UX7

	6.1M 2848×2136	4.6M 2848×1602	3.1M 2048×1536	VGA 640×480
64MB	21	28	40	390
	53	70	100	980
128MB	42	56	80	780
	105	135	205	1970
256MB	76	100	140	1400
	190	250	370	3550
512MB	155	205	295	2850
	390	510	760	7200
1GB	315	420	600	5900
	800	1050	1550	14500
2GB	650	860	1200	12000
	1600	2150	3150	30000
4GB	1250	1700	2400	23500
	3200	4250	6300	59000

電源スイッチが（動画）のとき*

HDR-UX5

	2.3M 2016×1134	1.7M 1512×1134
64MB	56	72
	135	175
128MB	110	145
	280	355
256MB	200	260
	500	640
512MB	410	530
	1000	1300
1GB	840	1050
	2100	2650
2GB	1700	2200
	4300	5500
4GB	3400	4400
	8500	10500

* 画像サイズは、動画の記録画質によって下記に固定されます。
  – HD（ハイビジョン）画質のときは［2.3M］
  – SD（標準）画質で16:9のときは［2.3M］
  – SD（標準）画質で4:3のときは［1.7M］

次のページへつづく

HDR-UX7

	4.6M 2848×1602 4.6M	3.4M 2136×1602 3.4M
64MB	28	37
	70	93
128MB	56	74
	135	185
256MB	100	130
	250	335
512MB	205	270
	510	690
1GB	420	550
	1050	1400
2GB	860	1100
	2150	2850
4GB	1700	2250
	4250	5700

* 画像サイズは、記録する画質の比率によって固定されます。
  – HD（ハイビジョン）画質のときは［ 4.6M］
  – SD（標準）画質で16:9のときは［ 4.6M］
  – SD（標準）画質で4:3のときは［3.4M］

ご注意

- それぞれの数値は次の設定によるものです。
  上段は画質が［ファイン］のとき
  下段は画質が［スタンダード］のとき
- ソニー製"メモリースティック デュオ"使用時。枚数は、撮影環境によって変わります。
- ソニー独自のクリアビットCMOSセンサーの画素配列と画像処理システム新エンハンスドイメージングプロセッサーにより、静止画は表記の記載サイズを実現しています。

画質

▶ **ファイン（FINE）**
高画質で記録する。

スタンダード（STD）
標準の画質で記録する。

ファイルナンバー

▶ **連番**
"メモリースティック デュオ"を取り換えてもファイル番号を連続して付ける。

リセット
"メモリースティック デュオ"ごとにファイル番号を付ける。

AEシフト（HDR-UX7）

63ページをご覧ください。

WBシフト（ホワイトバランスシフト）（HDR-UX7）

64ページをご覧ください。

NIGHTSHOT ライト

64ページをご覧ください。

手ブレ補正（HDR-UX7）

64ページをご覧ください。

ガイドフレーム

65ページをご覧ください。

ゼブラ

65ページをご覧ください。

フラッシュレベル

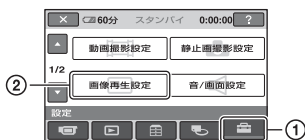
66ページをご覧ください。

赤目軽減

66ページをご覧ください。

ダイヤル設定（HDR-UX7）

66ページをご覧ください。

画像再生設定(表示内容の設定)

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

▶ 設定方法は

(ホームメニュー)→61ページ
(オプションメニュー)→74ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

日時/データ表示

撮影時に自動的に記録された情報(日付時刻データやカメラデータ)を再生時に確認できます。

▶切
日付時刻データやカメラデータを表示しない。

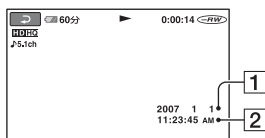
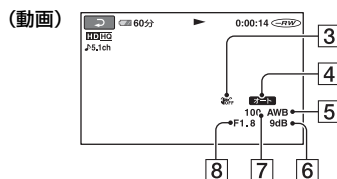
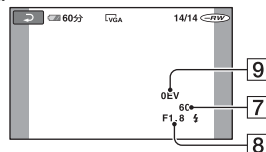
日付時刻データ
記録した画像の日付・時刻データを表示する。

カメラデータ
記録した画像のカメラデータを表示する。

日付時刻データ

1 日付
2 時刻

カメラデータ

(動画)

(静止画)

3 手ブレ補正切
4 明るさ調節
5 ホワイトバランス
6 ゲイン
7 シャッタースピード
8 絞り値
9 露出

- フラッシュを使って撮影した画像では、⚡が表示されます。
- 本機をテレビにつなぐとテレビ画面にも表示されます。
- リモコンのデータコードボタンを押すと、[日付時刻データ]→[カメラデータ]→[切](表示なし)と切り換わります。
- ディスクの状態によっては、[-- -- --]と表示されます。

表示枚数

ビジュアルインデックス画面に表示するサムネイルの枚数を設定します。

サムネイル 用語集(122ページ)へ

▶ズーム連動
本機のズームレバーを動かすと6枚表示と12枚表示が切り換わる。*

画像再生設定（表示内容の設定）（つづき）

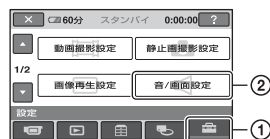
6枚

常に6枚のサムネイルを表示する。

12枚

常に12枚のサムネイルを表示する。

* 液晶画面下のズームボタン、リモコンのズームボタンでも操作できます。

音/画面設定（操作音やパネルの設定）

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

■ 設定方法は

（ホームメニュー）→61ページ
（オプションメニュー）→74ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

音量

［－］/［＋］をタッチして調節します。37ページをご覧ください。

操作音

▶入

撮影スタート/ストップ時、タッチパネルでの操作時などにメロディが鳴る。

切

操作音、シャッター音を出さない。

パネル明るさ

液晶画面の明るさを調節できます。

① ［－］/［＋］で調節する。
② ［OK］をタッチする。

ちょっと一言

- 録画される画像に影響ありません。

パネルBLレベル

液晶画面のバックライトの明るさを調節できます。

▶ノーマル
　通常の設定（標準の明るさ）。

　明るい
　画面が暗いと感じたときに選ぶ。

ご注意
- ACアダプターにつないで使うと、設定は自動的に[明るい]になります。
- [明るい]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。
- 液晶画面を180度回転させ、外側に向けて閉じた状態で使うと、設定は自動的に[ノーマル]になります。

ちょっと一言
- 録画される画像に影響ありません。

パネル色の濃さ

[−]/[＋]で液晶画面の濃さを調節できます。

ちょっと一言
- 録画される画像に影響ありません。

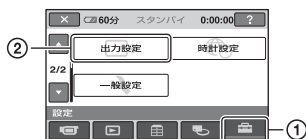
VFバックライト

ファインダーのバックライトの明るさを調節できます。

▶ノーマル
　通常の設定（標準の明るさ）。

　明るい
　ファインダーが暗いと感じたときに選ぶ。

ご注意
- ACアダプターにつないで使うと、設定は自動的に[明るい]になります。
- [明るい]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

ちょっと一言
- 録画される画像に影響ありません。

出力設定（他の機器とつないだときの設定）

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

設定方法は
(ホームメニュー)→61ページ
(オプションメニュー)→74ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

TVタイプ

テレビで見るときは、使用するテレビにあわせて信号の変換が必要です。撮影した画像は下記のように再生されます。

▶16:9
　ワイドテレビで再生するときに選ぶ。

ワイド(16:9)画像
4:3
　4:3テレビで再生するときに選ぶ。

ワイド(16:9)画像　　**4:3画像**

次のページへつづく➡

ご注意

- ID-1対応テレビやテレビのS（S1、S2）映像入力端子につないで再生する場合、[TVタイプ]を[16:9]に設定してください。テレビが自動的に再生画像の比率に切り換わります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

画面表示出力

▶ **パネル**

カウンターなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。

ビデオ出力/パネル

画面表示をテレビ画面、液晶画面、ファインダーに出す。

コンポーネント出力

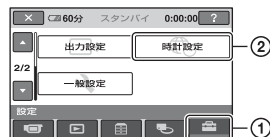
D端子のあるテレビとつなぐときに選びます。

D1

D1/D2端子があるテレビとつなぐときに選ぶ。

▶ D3

D3/D4/D5端子があるテレビとつなぐときに選ぶ。

時計設定（時刻などの設定）

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

設定方法は

（ホームメニュー）→61ページ
（オプションメニュー）→74ページ

日時あわせ

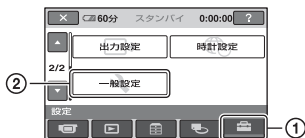
20ページをご覧ください。

エリア設定

時計を止めることなく時差補正ができます。
海外で使用するときは、▲/▼で使用する地域を選び、現地時刻に合わせます。「世界時刻表」（100ページ）をご覧ください。

サマータイム

時計を止めることなく設定を変更できます。
[入]に設定すると、時計が1時間進みます。

一般設定（その他の設定）

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

設定方法は

（ホームメニュー）→61ページ
（オプションメニュー）→74ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

デモモード

お買い上げ時の設定は［入］のため、電源スイッチを（動画）にして電源を入れると、約10分後に本機の機能のデモンストレーションを見ることができます。

ちょっと一言

- 次のいずれかを行うと、デモンストレーションを中断できます。
  - スタート/ストップボタンまたはフォトボタンを押す
  - デモンストレーション中に画面をタッチする（約10分後に再開します）
  - ディスクカバーオープンスイッチをずらす
  - "メモリースティック デュオ"を取り出す/入れる
  - 電源スイッチを（静止画）にする
  - （ホーム）ボタン/（画像再生）ボタンを押す

録画ランプ

［切］に設定すると、本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなります（お買い上げ時の設定は［入］）。

キャリブレーション

106ページをご覧ください。

自動電源オフ

▶5分後

何も操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる。

なし

自動的に電源は切れない。

ご注意

- コンセントにつないで使うと自動的に［なし］になります。

リモコン

お買い上げ時の設定は［入］のため、付属のワイヤレスリモコン（118ページ）が使えます。

ちょっと一言

- ［切］に設定すると、他機のリモコンによる誤動作を防げます。

オプションメニューで設定する

パソコンの右クリックのような役割がオプションメニューです。そのときに設定できるさまざまな機能が表示されます。

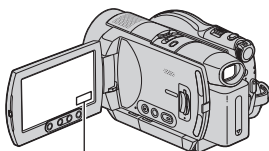
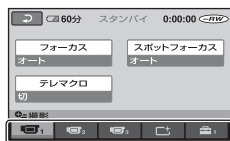
設定のしかた

1 本機を使用中に、画面の（オプション）ボタンをタッチする。

（オプション）ボタン

タブ

2 希望の項目をタッチする。

画面にないときは、他のタブをタッチして、表示させます。

3 希望の設定にして、OK をタッチする。

希望の項目が見当たらないときは

他のタブをタッチしてください。それでも見つからないときは、その機能は使えない状態になっています。

ご注意

- 表示されるタブや項目は、撮影、再生時の本機の状態によって変わります。
- タブが表示されない場合もあります。
- シンプル操作中はオプションメニューは使えません。

撮るときなどのオプションメニュー

設定方法は74ページをご覧ください。

項目	ホームにもある項目	ページ
タブ		
フォーカス	–	76
スポットフォーカス	–	76
テレマクロ	–	76
カメラ明るさ	–	77
スポット測光	–	77
AEシフト（HDR-UX7）	○	63
シーンセレクション	–	77
ホワイトバランス	–	78
WBシフト（HDR-UX7）	○	64
COLOR SLOW SHTR	–	79
SUPER NIGHTSHOT	–	79
タブ		
フェーダー	–	79
デジタルエフェクト	–	79
P.エフェクト	–	79
タブ		
HD 録画モード	○	63
SD 録画モード	○	63
マイク基準レベル	–	80
画像サイズ	○	66
画質	○	68
セルフタイマー	–	80
タイミング	–	34
音声記録	–	34

見るときなどのオプションメニュー

設定方法は74ページをご覧ください。

項目	ホームにもある項目	ページ
タブ		
削除	○	44
全削除	○	44
タブ		
分割	○	46
消去	○	48
全消去	○	48
移動	○	48
――（状況によってタブが変わる）		
へ追加	○	47
へ全追加	○	47
印刷	○	50
スライドショー	–	38
音量	○	70
日時/データ表示	○	69
スライドショー設定	–	38
追加	○	47
全追加	○	47
――（タブなし）		
印刷部数	○	51
日付/時刻	○	51
用紙サイズ	○	51
ディスクメニュー*	○	55

* SD（標準）画質のときは［DVDメニュー］になります。

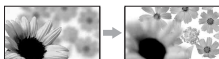
オプションメニューで設定する機能

ここではオプションメニューからのみ設定できる機能について説明します。

▶はお買い上げ時の設定です。

フォーカス

手動でピントを合わせられます。ピントを合わせる被写体を意図的に変えるときにも使えます。

 →

① [マニュアル]をタッチする。
　Ⓕが表示される。

② [近く](近くにピント合わせ)/[遠く](遠くにピント合わせ)をタッチしてピント調節。それ以上近くにピントを合わせられないときは が、それ以上遠くにピントを合わせられないときは が表示される。

③ [OK]をタッチする。

自動ピント合わせに戻すには、手順①で[オート]→[OK]をタッチする。

ご注意

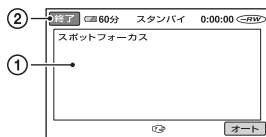
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

ちょっと一言

- ピントは、始めにズームをT側(望遠)にしてピントを合わせてから、W側(広角)に戻していくと合わせやすくなります。接写時は、逆にズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。
- 次のとき、フォーカス距離情報(ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します)を数秒間表示します。(別売りのコンバージョンレンズを付けているときは正しく表示されません。)
  – ピントを合わせる設定を自動から手動に切り換えたとき
  – フォーカスを自動調節したとき

- カメラコントロールダイヤルでも手動でピント合わせをすることができます(34ページ)(HDR-UX7)。

スポットフォーカス

画面中央から外れた被写体を基準にして、ピントを合わせられます。

① 画面枠内の被写体にタッチする。
　Ⓕが表示される。

② [終了]をタッチする。

自動ピント合わせに戻すには、手順①で[オート]→[終了]をタッチする。

ご注意

- スポットフォーカス中は、[フォーカス]が自動的に[マニュアル]になります。

テレマクロ

背景をぼかして、被写体をより際立たせることができます。花や昆虫など小さいものを撮るときに便利です。
[入](T)にするとズーム(31ページ)が自動で望遠(T側)になり、約37cm(HDR-UX5)/約45cm(HDR-UX7)までの近接撮影ができます。

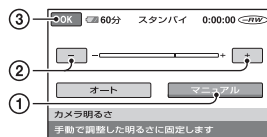
解除するには、[切]をタッチする。またはズームを広角(W側)にする。

ご注意

- 被写体が遠いときはピントが合いにくく、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。

- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください（[フォーカス]、76ページ）。

カメラ明るさ

画像の明るさを手動で固定できます。背景に比べて被写体が明るすぎたり、暗すぎたりするときなどに調節します。

① [マニュアル]をタッチする。
が表示される。

② [－]/[＋]で明るさを調節する。

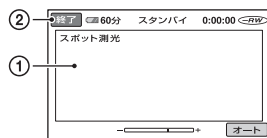
③ [OK]をタッチする。

自動調節に戻すには、手順①で[オート]→[OK]をタッチする。

ちょっと一言

- カメラコントロールダイヤルでも手動で調節することができます（34ページ）（HDR-UX7）。

スポット測光（フレキシブルスポット測光）

被写体が最適な明るさで映るように画面全体の明るさを調節し、固定できます。舞台上の人物の撮影など、被写体と背景のコントラストが強いときに使います。

① 画面枠内の撮影するポイントをタッチする。
が表示される。

② [終了]をタッチする。

自動調節に戻すには、手順①で[オート]→[終了]をタッチする。

ご注意

- フレキシブルスポット測光中は、[カメラ明るさ]は自動的に[マニュアル]になります。

シーンセレクション

場面に合わせて、効果的な画像で撮影できます。

▶オート
シーンセレクションを使わずに、自動的に効果的な画像になる。

夜景*（ ）
暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影できる。

夜景＆人物（ ）
静止画撮影時にフラッシュを使い、人物と背景を撮影する。

キャンドル（ ）
キャンドルライトの雰囲気を損なわずに撮影できる。

日の出＆夕焼け*（ ）
日の出や夕焼けなどを雰囲気たっぷりに表現する。

打ち上げ花火*（ ）
打ち上げ花火をきれいに撮影する。

風景*（ ）
遠景まではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになる。

ソフトポートレート（ ）

背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。

スポットライト[**]**（ ）**

スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。

ビーチ[**]**（ ）**

海や湖畔など水の青さを鮮やかに撮影できる。

スノー[**]**（ ）**

ゲレンデなどの白い風景で、画面が暗くなるのを防ぎ、明るくする。

[*] 遠景のみにピントが合うように設定されます。

[**] 近くのものにピントが合わないように設定されます。

ご注意

- [シーンセレクション]を設定すると、[ホワイトバランス]の設定が解除されます。

ホワイトバランス

撮影する場面に合わせて色合いを調節できます。

▶オート

自動調節される。

屋外（ ）

次の撮影環境に合った色合いになる。

– 屋外
– 夜景やネオン、花火など
– 日の出、日没など
– 昼光色蛍光灯の下

屋内（ ）

次の撮影環境に合った色合いになる。

– 屋内
– パーティー会場やスタジオなど照明条件が変化する場所
– スタジオなどのビデオライトの下、ナトリウムランプや電球色蛍光灯の下

ワンプッシュ（ ）

光源に合わせてホワイトバランスを固定する。

① [ワンプッシュ]をタッチする。
② 被写体を照らす照明条件と同じところに白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。
③ [ ]をタッチする。
  が速い点滅に変わり、ホワイトバランスが調節される。終わると点灯に変わる。

ご注意

- 白色や昼白色の蛍光灯下では、[オート]に設定するか、[ワンプッシュ]の手順で色合いを調節してください。
- [ワンプッシュ]設定中、 が速く点滅している間、白い物を映し続けてください。
- [ワンプッシュ]を設定できなかった場合は、 が遅く点滅します。
- [ワンプッシュ]設定中、OK をタッチ後も が点滅するときは、[オート]にしてください。
- [ホワイトバランス]を設定すると、[シーンセレクション]の設定が[オート]になります。

ちょっと一言

- [オート]でバッテリーを交換したときや、屋内外を移動したときは、白っぽい被写体に向けて[オート]で約10秒間撮影すると、最適な色合いになります。
- [ワンプッシュ]設定中に、[シーンセレクション]の効果を変えたり、屋内外を行き来したりしたときは、再び[ワンプッシュ]の手順を行ってください。

COLOR SLOW SHTR（Color Slow Shutter）

薄暗い場所でも明るくカラーで撮影できます。
［COLOR SLOW SHTR］を［入］にする。
が表示される。

解除するには、［切］をタッチする。

ご注意

- ピントが合いにくい場合は、手動でピントを合わせてください（［フォーカス］、76ページ）。
- シャッタースピードが明るさによって変わり、画像の動きが遅くなることがあります。

SUPER NIGHTSHOT

暗い場所でNightShotの最大16倍の感度で撮影できます。
あらかじめNIGHTSHOTスイッチを「入」にした状態で［SUPER NIGHTSHOT］を［入］にする。S が表示される。

解除するには、［SUPER NIGHTSHOT］を［切］にする。

ご注意

- 明るい場所で使うと故障の原因になります。
- 赤外線発光部を指などで覆わないでください。
- コンバージョンレンズ（別売り）は外してください。
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください（［フォーカス］、76ページ）。
- シャッタースピードが明るさによって変わるため、画像の動きが遅くなることがあります。

フェーダー

場面間に、効果を入れながら、つなぎ撮りできます。

① スタンバイ中（フェードインのとき）、または撮影中（フェードアウトのとき）に使いたい効果を選んで OK をタッチする。

② スタート/ストップボタンを押す。

フェーダー表示が点灯に変わり、終了後消える。

操作開始前に解除するには、①で［切］をタッチする。
一度スタート/ストップボタン押すと設定は解除されます。

フェードアウト　　フェードイン

ホワイトフェーダー

ブラックフェーダー

デジタルエフェクト

［オールドムービー］を選択するとが表示され、昔の映画のような画像で撮影できます。

解除するには、［切］をタッチする。

P.エフェクト（ピクチャーエフェクト）

特殊効果を加えて撮影できます。が表示されます。

▶切
ピクチャーエフェクトを使わない。

セピア
古い写真のような画像。

モノトーン
白黒の画像。

パステル
淡い色の画像。

次のページへつづく➡

マイク基準レベル

録音時のマイクレベルを選べます。
演奏会などで、臨場感のある音を録音したいときは[低]を選びます。

▶**標準**
周囲の音を一定のレベル内におさめて録音する。

低( )
周囲の音を忠実に録音する。(日常の会話の録音などには適していません。)

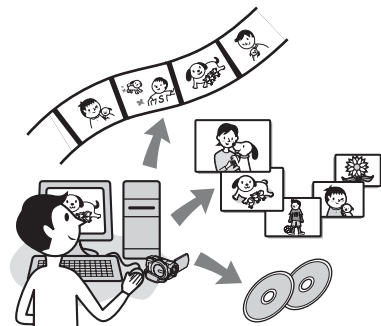
セルフタイマー

約10秒後に静止画を撮影します。
[入]( )のときにフォトボタンを押す。
秒読みを停止するには[リセット]をタッチする。
解除するには[切]をタッチする。

ちょっと一言
- リモコンのフォトボタンでも操作できます(118ページ)。

Windowsパソコンでできること

付属のCD-ROMからWindowsパソコンに、「Picture Motion Browser」をインストールすると、次のような操作を楽しむことができます。

ちょっと一言
- Macintoshをお使いのときは、86ページをご覧ください。

主な機能

■ HD(ハイビジョン)画質で記録したディスクを再生する
→ Player for AVCHD

本機で撮影したHD(ハイビジョン)画質のディスクを、パソコンのDVDドライブに入れて再生できます。

ご注意
- 動作保障されているパソコン環境でも再生画像がコマ落ちすることがあります。

■ 本機で記録した画像をパソコンに取り込む
HD(ハイビジョン)画質で記録した画像をHD(ハイビジョン)画質のまま取り込むことができます。

■ 取り込んだ画像を閲覧する
撮影した日付ごとに管理でき、サムネイル表示から選んで見ることができます。拡大表示やスライドショーでの再生もできます。

■ AVCHD方式のディスクを作成する
パソコンに取り込んだHD(ハイビジョン)画質の動画を選んで、HD(ハイビジョン)画質のディスクを作成できます。

■ ディスクのコピー
→ Video Disc Copier

記録したディスクをそのままコピーできます。

「ファーストステップガイド」について

「ファーストステップガイド」はパソコンで見ることができるマニュアルです。本機とパソコンの接続や初期設定からCD-ROM(付属)に含まれているソフトウェア「Picture Motion Browser」を初めて使うときに必要な基本操作までを説明しています。
「「ファーストステップガイド」をインストールする」(83ページ)をご覧になりながらインストールした後に、「ファーストステップガイド」を起動して手順に従ってください。

ソフトウェア付属のヘルプのご案内

ソフトウェアの全ての機能を説明しています。「ファーストステップガイド」で操作の概要を理解したうえで、さらに詳しい操作方法を知りたいときは、ヘルプをご覧ください。
ヘルプを見るには、画面上の[?]マークをクリックしてください。
Picture Motion Browserのサポート情報は、次のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

次のページへつづく➡

パソコン環境について

Picture Motion Browserを使うときのパソコン環境

対応OS：Microsoft Windows 2000 Professional/Windows XP Home Edition/Windows XP Professional/Windows XP Media Center Edition
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOS内でもアップグレードした場合やマルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

CPU: Intel Pentium 4 2.8GHz以上(Intel Pentium 4 3.6GHz以上、Intel Pentium D 2.8GHz以上、またはIntel Core Duo 1.66GHz以上を推奨します。)
ただし、SD(標準)画質のコンテンツのみを扱う場合は、Intel Pentium III 1GHz以上が必要です。

必要なソフトウェア：DirectX 9.0c以降(DirectXテクノロジに対応しておりますので、ご使用の際はDirectXが組み込まれている必要があります。)
.Net Framework 1.1(環境に応じてPicture Motion Browserと一緒にインストールされます。)

サウンドカード：Direct Sound対応のサウンドカード

メモリー：512MB以上(1GB以上を推奨します。)
ただし、SD(標準)画質のコンテンツのみを扱う場合は、256MB以上が必要です。

ハードディスク：
インストールに必要なディスク容量：約800MB(AVCHD対応ディスクを作成する場合には、10GB以上必要になる場合もあります。)

ディスプレイ：DirectX 7以上対応のビデオカード、解像度は1024×768ドット以上、High Color(16ビット カラー)

その他必要な装置：USB端子標準装備(Hi-Speed USB(USB 2.0準拠)対応を推奨)、DVD作成が可能なディスクドライブ(インストールにはCD-ROMドライブが必要)

“メモリースティック デュオ”の画像をパソコンで見るときのパソコン環境

対応OS：Microsoft Windows 2000 Professional/Windows XP Home Edition/Windows XP Professional/Windows XP Media Center Edition
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOS内でもアップグレードした場合は動作保証いたしません。

CPU：MMX Pentium 200MHz以上

その他必要な装置：USB端子標準装備

ご注意

- すべてのパソコン環境についての動作を保障するものではありません。
例えば、バックグランドで動作している他のソフトウェアが動作に影響を与える場合があります。
- 動作保障されているパソコン環境でも、HD(ハイビジョン)画質の画像がコマ落ちしてなめらかに再生できない場合があります。取り込んだ画像や作成するディスクの画質には影響ありません。

ちょっと一言

- パソコンにメモリースティック スロットがある場合は、画像を保存した“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプター(別売り)に入れてから、パソコンのメモリースティック スロットに差し込んで画像を取り込むこともできます。
- “メモリースティック PRO デュオ”をお使いの際にパソコンが“メモリースティック PRO デュオ”に対応していない場合は、パソコンのメモリースティック スロットを使用せずに本機をUSBケーブルでつないでください。

「ファーストステップガイド」やソフトウェアをインストールする

本機をパソコンにつなぐ前に、「ファーストステップガイド」とソフトウェアをインストールします。1度インストールすれば、次回からインストールは不要です。
パソコンのOSによってインストールする内容や手順が異なります。

ちょっと一言
- Macintoshをお使いのときは、86ページをご覧ください。

「ファーストステップガイド」をインストールする

1 パソコンに本機がつながれていないことを確認する。

2 パソコンの電源を入れる。

ご注意
- Administrator権限/コンピューターの管理者でログオンしてください。
- 使用中のアプリケーションは、インストールの前に終了させておいてください。

3 パソコンのディスクドライブにCD-ROM(付属)をセットする。

インストール画面が表示される。

インストール画面が表示されないときは
① [スタート]→[マイ コンピュータ]の順にクリックする。(Windows 2000の場合は、[マイ コンピュータ]をダブルクリックする。)
② [SONYPICTUTIL (E:)](CD-ROM)*をダブルクリックする。
*ドライブ文字((E:)など)は、使うパソコンによって異なることがあります。

4 「ファーストステップガイド」をクリックする。

5 プルダウンメニューで[日本語]を選ぶ。

6 [ファーストステップガイド(HTML)]をクリックする。

インストールが始まる。
完了すると、「保存を完了しました。」が表示されます。[OK]をタッチして終了します。

PDF形式の「ファーストステップガイド」をインストールするには

手順**6**で、[ファーストステップガイド(PDF)]をクリックする。

PDFを見るためのソフトウェア「Adobe Reader」をインストールするには

手順**6**で、[Adobe(R) Reader(R)]をクリックする。

パソコンとつなぐ

ソフトウェアをインストールする

1 「「ファーストステップガイド」をインストールする」（83ページ）の手順1～3を行う。

2 ［インストール］をクリックする。

3 ［日本語］を選び、［次へ］をクリックする。

4 お住まいのエリア、国/地域を確認し、［次へ］をクリックする。

5 ［使用許諾契約］の内容をよく読み、同意される場合は［使用許諾契約の全条項に同意します］を選択し、［次へ］をクリックする。

6 接続機器の画面が表示されるので、本機をUSBケーブルでパソコンに接続し、［次へ］をクリックする。

パソコンの再起動を求める画面が表示される場合がありますが、ここでは再起動を行う必要はありませんので、インストール完了後に再起動を行ってください。

7 画面の指示に従って操作する。

必要ならばコンピュータを再起動して、インストールを完了する。

コンピュータの環境により以下のインストール画面が表示される。画面を確認し、指示に従って必要なソフトウェアをインストールする。

- Sonic UDF Reader
  AVCHD方式のディスクを認識するために必要なソフトウェア
- Windows Media Format 9 Series Runtime (Windows 2000のみ)
  DVD作成に必要なソフトウェア
- Microsoft .NET Framework 1.1
  AVCHD作成に必要なソフトウェア
- Microsoft DirectX 9.0c
  動画を扱うために必要なソフトウェア

8 パソコンからCD-ROMを取り出す。

デスクトップ画面に（Picture Motion Browser）などのショートカットが表示される。

ちょっと一言

- USBケーブルの外しかたは、「ファーストステップガイド」をご覧ください。

インストールすると、デスクトップ上にソニー製品カスタマー登録WEBサイトのショートカットが表示されます。

- カスタマー登録していただくと安心・便利な各種サポートが受けられます。
  http://www.sony.co.jp/di-regi/

インストールすると、デスクトップ上にSony マイページのショートカットが表示されます。

- マイページではお持ちの登録製品に合わせたサポート情報をご覧いただけます。
  http://www.sony.co.jp/mypage

「ファーストステップガイド」を見る

ちょっと一言

- Macintoshをお使いのときは、86ページをご覧ください。

「ファーストステップガイド」は、Microsoft Internet Explorer Ver.6.0以上で見ることをおすすめします。
デスクトップの「ファーストステップガイド」のショートカットをダブルクリックする。

ちょっと一言

- [スタート]→[プログラム](Windows XPをお使いのかたは[すべてのプログラム])→[Sony Picture Utility]→「ファーストステップガイド」→お使いの機種名→HTML形式の「ファーストステップガイド」を選んで、「ファーストステップガイド」を起動させることもできます。
- 「ファーストステップガイド」をインストールせずにHTML形式でご覧になる場合は、CD-ROMの「First Step Guide」にある言語フォルダをパソコンにコピーし、[Index.html]をダブルクリックしてください。
- 次のときはPDF形式の「ファーストステップガイド」をご覧ください(83ページ)。
  - 「ファーストステップガイド」の必要な部分を印刷したい
  - ブラウザの設定により、推奨環境でも正常に表示されない
  - HTML形式でインストールできない

サポートのご案内

パソコンとの接続方法など

http://www.sony.co.jp/cam/support/

付属ソフトウェア(Picture Motion Browser)について

http://www.sony.co.jp/support-disoft/

Macintoshをお使いのときは

Macintoshでは、“メモリースティック デュオ”の静止画を取り込むことができます。
ここでは、CD-ROM（付属）に含まれている「ファーストステップガイド」をインストールします。

ご注意

- 付属のソフトウェア「Picture Motion Browser」はMac OSに対応していません。
- 本機とパソコンとの接続や静止画の取り込み方法について詳しくは、「ファーストステップガイド」をご覧ください。

パソコン環境について

“メモリースティック デュオ”の画像をMacintoshで取り込むときのパソコン環境

対応OS: Mac OS 9.1/9.2/Mac OS X (v10.1/v10.2/v10.3/v10.4)

その他必要な装置: USB端子標準装備

「ファーストステップガイド」について

「ファーストステップガイド」はMacintoshで見ることができるマニュアルです。本機とMacintoshの接続や初期設定、静止画の取り込み方法など、初めて使うときに必要な基本操作までを説明しています。
「「ファーストステップガイド」をインストールする」をご覧になりながらインストールした後に、「ファーストステップガイド」を起動して手順に従ってください。

「ファーストステップガイド」をインストールする

CD-ROM（付属）の「FirstStepGuide」フォルダの中の「FirstStepGuide.pdf」をコピーする。

「ファーストステップガイド」を見る

「FirstStepGuide.pdf」をダブルクリックする。
PDFを見るためのソフトウェアがMacintoshにインストールされていない場合は、下記のホームページからAdobe Readerをダウンロードしてください。
http://www.adobe.co.jp

サポートのご案内

Macintoshとの接続方法など
http://www.sony.co.jp/cam/support/

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

全体操作/シンプル操作/リモコン

電源が入らない。

- 充電されたバッテリーを取り付ける（17ページ）。
- ACアダプターをコンセントに差し込む（17ページ）。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかりますが、故障ではありません。
- 電源（バッテリーまたはACアダプターの電源コード）を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。それでも操作できないときは、RESET（リセット）ボタン（116ページ）を先のとがったもので押す（すべての設定が解除される）。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

ボタンが操作できない。

- シンプル操作中は次のボタン/機能は使えません（26ページ）。
  – 逆光補正ボタン（33ページ）
  – カメラコントロールダイヤル（34ページ）（HDR-UX7）
  – 再生ズーム（38ページ）
  – 液晶画面バックライトの切り換え（22ページ）

（オプション）ボタンが表示されない。

- シンプル操作中はオプションメニューは使えません。

メニュー項目の設定が変わっている。

- シンプル操作中、ほとんどのメニュー項目はお買い上げ時の設定に自動で戻ります。
- シンプル操作中、次のメニュー項目の設定は固定されます。
  – 動画の録画モード：[SP]
  – 静止画の[画質]：[ファイン]
  – [日時/データ表示]：[日付時刻データ]
  – DVD-RWの[初期化]：[VIDEOモード]（SD（標準）画質のとき）
- 次のメニュー項目は、電源を「切/（充電）」にして12時間以上経つと自動的にお買い上げ時の設定に戻ります。
  – [フォーカス]
  – [スポットフォーカス]
  – [カメラ明るさ]
  – [スポット測光]
  – [シーンセレクション]
  – [ホワイトバランス]
  – [マイク基準レベル]

シンプルボタンを押してもメニュー設定が自動に切り換わらない。

- 次のメニュー項目はシンプル操作前の設定値が保持されます。
  – [ファイルナンバー]
  – [音量]
  – [TVタイプ]
  – [表示枚数]

次のページへつづく

– [操作音]
– [プレーヤ用日付記録]
– [日時あわせ]
– [エリア設定]
– [サマータイム]
– [■画像サイズ]
– [ワイド切換]
– [コンポーネント出力]
– [デモモード]
– [ダイヤル設定]（HDR-UX7）
– [なめらかスロー録画]の[タイミング]と[音声記録]
– [X.V.COLOR]

本機が振動する。

- ディスクの状態によっては本機が振動することがある。故障ではありません。

振動が手に感じられる、または操作中にかすかな音が聞こえる。

- 故障ではありません。

ディスクを入れずにディスクカバーを閉じたときに内部でモーター音が聞こえる。

- ディスクの有無を認識しているためで、故障ではありません。

本機があたたかくなる。

- 長時間電源を入れたままにしたためで、故障ではありません。本機の電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- [リモコン]を[入]にする（73ページ）。
- 電池の＋極と－極を正しく入れる（118ページ）。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがある。

リモコン操作中に他のDVD機器が誤動作する。

- DVD機器のリモコンスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさぐ。

バッテリー/電源

電源が途中で切れる。

- お買い上げ時の設定では、操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる（自動電源オフ）。[自動電源オフ]の設定を変更する（73ページ）か、もう一度電源を入れる、またはACアダプターを使用する。
- バッテリーを充電する（17ページ）。

バッテリーの充電中、充電ランプが点灯しない。

- 電源スイッチを「切（充電）」にする（17ページ）。
- バッテリーを正しく取り付け直す（17ページ）。
- コンセントにプラグを正しく差し込む。
- すでに充電が完了している（17ページ）。

バッテリーの充電中、充電ランプが点滅する。

- バッテリーを正しく取り付け直す（17ページ）。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、テクニカルインフォメーションセンターに問い合わせる（裏表紙）。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する（17ページ）。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。

バッテリーの消耗が速い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が速いときは寿命のため、新しいバッテリーに交換する（17ページ）。

液晶画面/ファインダー

タッチパネルのボタンが表示されない。

- 液晶画面を軽くタッチする。
- 画面表示/バッテリーインフォボタン（またはリモコンの画面表示ボタン）を押す（22ページ）。

タッチパネルのボタンが操作できない/正しく操作できない。

- タッチパネルを調節（キャリブレーション）する（106ページ）。

メニュー項目が灰色で表示され、選択できない。

- その項目は選択できません。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります（94ページ）。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- 視度調整つまみを動かす（22ページ）。

ファインダーの画像が消えている。

- 液晶画面が開いているとファインダーには画像は映りません（22ページ）。

ディスク/"メモリースティック デュオ"

ディスクが取り出せない。

- 電源（バッテリーやACアダプター）が正しく接続されているか確認する（17ページ）。
- ディスクに傷がある、または指紋などで汚れている。この場合は取り出しに最大10分程度かかることがある。
- 本機の温度が著しく上昇している。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- ファイナライズ中に本機の電源を切ったため。電源を入れ、ファイナライズを終了させる（54ページ）。

ディスクの画像を削除できない。

- 編集画面では、削除する画像を1度に100枚までしか選択できません。
- ディスクの種類やモードによっては、削除できない場合があります（11ページ）。

ディスク残量表示が出ない。

- 常に表示させたいときは、[▮▮ 残量表示]を[入]にする（65ページ）。

ディスク表示、記録フォーマット表示が灰色で表示される。

- 本機以外で作成されたディスクの可能性がある。本機で再生はできますが、追加記録はできません。

"メモリースティック デュオ"を入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマット（初期化）した"メモリースティック デュオ"を入れている場合は、本機で初期化する（59ページ）。

"メモリースティック デュオ"の画像消去、フォーマットができない。

- 編集画面では、削除する静止画を1度に100枚までしか選択できません。
- 他機でプロテクトをかけた静止画は削除できません。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。

次のページへつづく➡

- 本機で対応しているファイル形式を使う（103ページ）。

撮影

「ディスク/"メモリースティック デュオ"」（89ページ）もご覧ください。

スタート/ストップボタンを押してもディスクに撮影できない。

- 再生画面になっている。電源スイッチを 🎞（動画）にする（30ページ）。
- 直前に撮影した画像をディスクに書き込んでいる。
- ディスクの空き容量がない。新しいディスクを入れるか、初期化する（DVD-RW/DVD+RWのみ）（58ページ）。または不要な画像を削除する（44ページ）。
- ファイナライズした次のディスクを使っているときは、追加記録可能な状態にする（60ページ）、または新しいディスクを入れる。
  – DVD+RW
  – HD（ハイビジョン）画質で記録したDVD-RW
  – SD（標準）画質で記録したDVD-RW（VIDEOモード）
- 本機の温度が著しく上昇している。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 結露している。電源を切り、涼しい場所で約1時間放置する（106ページ）。

静止画を撮影できない。

- 再生画面になっている。撮影画面にする（30ページ）。
- "メモリースティック デュオ"の空き容量がない。新しい"メモリースティック デュオ"を入れるか、初期化する（59ページ）。または不要な静止画を削除する（45ページ）。
- 次の設定のとき、静止画を記録することはできません。
  – [なめらかスロー録画]
  – [フェーダー]
  – [デジタルエフェクト]
  – [P.エフェクト]
- 本機では、ディスクに静止画を記録することはできません。

撮影を止めてもアクセスランプがついている。

- 撮影した画像をディスクに書き込んでいる。

画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

フラッシュが発光しない。

- 次の設定のとき、フラッシュ撮影はできません。
  – 動画撮影中に静止画を記録するとき
  – コンバージョンレンズやフィルター（別売り）装着時
- 自動調節や 👁（自動赤目軽減）にしていても、次の設定のときフラッシュは自動発光しません。
  – NightShot
  – [SUPER NIGHTSHOT]
  – [シーンセレクション]の[夜景]、[キャンドル]、[日の出＆夕焼け]、[打ち上げ花火]、[風景]、[スポットライト]、[ビーチ]、[スノー]のとき
  – [カメラ明るさ]が[マニュアル]のとき
  – [スポット測光]

実際の動画の録画可能時間が、ディスク1枚あたりの目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像など、被写体によっては録画可能時間が短くなる（12ページ）。

録画が止まる。

- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 結露している。電源を切り、涼しい場所で約1時間放置する（106ページ）。

スタート/ストップボタンを押した時点と、記録された動画の開始/終了時点がずれる。

- 本機では、スタート/ストップボタンを押してから実際に録画が開始/終了するまでに若干の時間差が生じることがある。故障ではありません。

動画の比率（ワイド/4:3）が切り換えられない。

- 次のときは動画の比率を切り換えられません。
  – HD（ハイビジョン）画質のとき
  – SD（標準）画質でDVD+RWのとき
  – 本機にディスクが入っていないとき

オートフォーカスができない。

- ［フォーカス］を［オート］にする（76ページ）。
- オートフォーカスが働きにくい状態のときは、手動でピントを合わせる（76ページ）。

手ブレ補正ができない。

- ［手ブレ補正］を［入］にする（64ページ）。
- ［手ブレ補正］が［入］になっていても、手ブレが大きすぎると補正しきれないことがある。

逆光補正ができない。

- シンプル操作中は逆光補正ができません。

画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える。

- フォーカルプレーンという現象で、故障ではありません。撮像素子（CMOSセンサー）の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、非常に速く画像を横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることがある。

- ［SUPER NIGHTSHOT］、［COLOR SLOW SHTR］のときに出る現象で、故障ではありません。

画像の色が正しくない。

- NIGHTSHOTスイッチを「切」にする（33ページ）。

画面が白すぎて画像が見えない。

- NIGHTSHOTスイッチを「切」にする（33ページ）。

画面が暗すぎて画像が見えない。

- 画面表示/バッテリーインフォボタンを押したままにして液晶画面バックライトを点灯させる（22ページ）。

横帯が現れる。

- 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- ［手ブレ補正］を［切］にする（64ページ）（HDR-UX5）。

[SUPER NIGHTSHOT]ができない。

- NIGHTSHOTスイッチが「入」になっていない。

[COLOR SLOW SHTR]が正しくできない。

- まったく光のない場所では、［COLOR SLOW SHTR］が正しく働かないことがあるため、NightShotまたは［SUPER NIGHTSHOT］で撮影する。

次のページへつづく➡

[パネルBLレベル]を調節できない。

- 次のとき、[パネルBLレベル]は調節できません。
  – 液晶画面を外側に向けて本体におさめているとき
  – ACアダプターを使用しているとき

本機での再生

ディスクを再生できない。

- 電源を入れ、▶（画像再生）ボタンを押す。
- ホームメニューで ▶（画像再生）→[V.インデックス]をタッチする。
- 本機に対応したディスクかどうか確認する（11ページ）。
- 記録面を本機側に向けてディスクを装着する（23ページ）。
- 他機で記録/初期化/ファイナライズしたディスクは、本機で再生できないことがある。

ディスクの画像が乱れる。

- 柔らかい布などでディスクをきれいにする（101ページ）。

“メモリースティック デュオ”の静止画が再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像加工すると、再生できない場合がある（ファイル名が点滅）。故障ではありません（104ページ）。
- 他機で撮影した静止画は、再生できなかったり、正しいサイズで表示されないことがある。故障ではありません（104ページ）。

ビジュアルインデックスの静止画に ? が表示される。

- データの読み出しに失敗した可能性がある。電源を切ってもう一度入れたり、“メモリースティック デュオ”を2、3回入れ直したりすると正しく表示される場合がある。
- 他機で撮影した静止画や、パソコンで画像加工した静止画などはこのように表示されることがある。

音声が小さい。または聞こえない。

- 音量を大きくする（37ページ）。
- 液晶画面を閉じていると音声は出ません。液晶画面を開く。
- [マイク基準レベル]（80ページ）を[低]にして記録すると、音声が小さくなる場合がある。
- [なめらかスロー録画]で記録中の約3秒間には音声を記録できません。

他機でのディスク再生

再生できない、またはディスクが認識されない。

- HD（ハイビジョン）画質で記録したディスクをAVCHD規格に対応していない機器で再生することはできません（56ページ）。
- 柔らかい布などでディスクをきれいにする（101ページ）。
- ディスクをファイナライズする（52ページ）。
- VRモードで記録すると再生できない機器がある。再生機器の取扱説明書で、互換性を確認する。

画像が乱れる。

- 柔らかい布などでディスクをきれいにする（101ページ）。

ディスクメニュー/DVDメニューの画像に ? が表示される。

- ファイナライズ時にデータの読み出しに失敗した可能性がある。次のディスクのときは、追加記録可能な状態にし（60ページ）、再びファイナライズでディスクメニュー/DVDメニューを作成すると（52ページ）、正しく表示される場合がある。
  – DVD+RW

– HD(ハイビジョン)画質で記録したDVD-RW
– SD(標準)画質で記録したDVD-RW(VIDEOモード)

各場面のつなぎめで、再生画像が一瞬止まる。

- 再生する機器によっては、場面のつなぎめで再生画像が一瞬止まることがある。故障ではありません。
- DVD+R DLの場合は、記録層が変わるときに再生画像が一瞬止まることがある。故障ではありません。

⏮ ボタンを押しても、前の場面に移動しない。

- 本機で自動的に作成された2つのタイトルをまたぐと、⏮ ボタンを押しても場面に移動しないことがある。メニュー画面から選んで移動する。詳しくは再生機器の取扱説明書で確認する。

ディスク編集

編集できない。

- 編集できないディスクを使っている(11ページ)。
- 画像が記録されていない。
- 画像の状態により編集ができなくなっている。
- 他機でプロテクト(誤消去防止)されたディスクは編集できません。
- ディスク/"メモリースティック デュオ"間で画像のコピーや移動はできません。

プレイリストに追加できない。

- ディスクの空き容量がない、または追加した画像数が999を超えている。不要な画像を削除する(48ページ)。
- 静止画はプレイリストに追加できません。

分割できない。

- 極端に記録時間の短い動画は分割できません。
- 他機でプロテクト(誤消去防止)をかけた動画は分割できません。

削除できない。

- 画像の削除ができないディスクを使っている(11ページ)。
- シンプル操作中は動画の削除ができません。
- 他機でプロテクト(誤消去防止)をかけた画像は削除できません。

ディスクの画像を"メモリースティック デュオ"に取り込めない。

- 本機では、再生中のディスクの動画を"メモリースティック デュオ"に静止画として取り込むことはできません。

ファイナライズができない。

- バッテリーを使用している。ACアダプターを使用する。
- ディスクがすでにファイナライズされている。次のディスクのときは、ディスクを追加記録可能な状態にする(60ページ)。
  – DVD+RW
  – HD(ハイビジョン)画質で記録したDVD-RW
  – SD(標準)画質で記録したDVD-RW(VIDEOモード)

[ファイナライズ解除]ができない。

- 次のディスクでは[ファイナライズ解除]はできません。
  – DVD-R
  – DVD+R DL
  – SD(標準)画質で記録したDVD+RW
  – SD(標準)画質で記録したDVD-RW(VRモード)

次のページへつづく➡

他の機器でディスクに追加記録や編集ができない。

- 本機で録画したディスクは、他の機器では追加記録や編集ができない場合がある。

テレビでの再生

テレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- コンポーネントビデオケーブルを使うときは、接続する機器に合わせて［コンポーネント出力］を正しく設定する（72ページ）。
- D端子コンポーネントビデオケーブルだけでつないでいるため。AV接続ケーブルの白と赤のプラグも合わせてつなぐ（40、42ページ）。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。

音声が聞こえない。

- D端子コンポーネントビデオケーブルだけでつないでいるため。AV接続ケーブルの白と赤のプラグも合わせてつなぐ（40ページ）。
- S（S1、S2）映像プラグだけでつないでいるため。AV接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ（42ページ）。

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

- ワイド（16:9）で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象で、［TVタイプ］を正しく設定して再生する（71ページ）。

4:3テレビにつないで再生したら、上下に黒い帯が入る。

- ワイド（16:9）で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象で、故障ではありません。

ダビング/外部機器接続

ダビングできない。

- HDMIケーブルを使ってのダビングはできません。
- AV接続ケーブルが正しくつながれていない。他機の入力端子へつながれているか確認する（49ページ）。

パソコンとの接続

ディスクの画像を扱うときに、本機がパソコンに認識されない。

- Picture Motion Browserをインストールする（83ページ）。
- キーボード、マウス、本機以外で、パソコンのUSB端子につながれている他の機器を取りはずす。
- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ。

Macintoshで付属のソフトウエア、Picture Motion Browserが使えない。

- Picture Motion BrowserはMacintoshでは使えません。

同時に使えない機能一覧

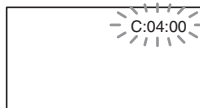
下表は、同時に設定できない機能やメニュー項目の例です。

使えない機能	以下を設定してあるため
逆光補正	［スポット測光］、［打ち上げ花火］、［カメラ明るさ］の［マニュアル］
［シーンセレクション］	NightShot、［SUPER NIGHTSHOT］、［COLOR SLOW SHTR］、［オールドムービー］、［テレマクロ］、［フェーダー］

使えない機能	以下を設定してあるため
[スポット測光]	NightShot、[SUPER NIGHTSHOT]
[カメラ明るさ]	NightShot、[SUPER NIGHTSHOT]
[ホワイトバランス]	NightShot、[SUPER NIGHTSHOT]
[ホワイトバランス]の[ワンプッシュ]	[なめらかスロー録画]
[スポットフォーカス]	[シーンセレクション]
[SUPER NIGHTSHOT]	[フェーダー]、[デジタルエフェクト]
[COLOR SLOW SHTR]	[フェーダー]、[デジタルエフェクト]、[シーンセレクション]
[フェーダー]	[SUPER NIGHTSHOT]、[COLOR SLOW SHTR]、[デジタルエフェクト]、[キャンドル]、[打ち上げ花火]
[デジタルエフェクト]	[SUPER NIGHTSHOT]、[COLOR SLOW SHTR]、[フェーダー]
[オールドムービー]	[シーンセレクション]、[P.エフェクト]
[P.エフェクト]	[オールドムービー]
[手ブレ補正]	[なめらかスロー録画]（HDR-UX5）
[テレマクロ]	[シーンセレクション]
[オートスロシャッタ]	[なめらかスロー録画] , [デジタルエフェクト]、[シーンセレクション]、[COLOW SLOW SHTR]、[SUPER NIGHTSHOT]
[AEシフト]	[打ち上げ花火]、[カメラ明るさ]の[マニュアル]
[ワイド切換]	[オールドムービー]

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶画面またはファインダーには、次のように表示されます。
お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

C:（またはE:）□□:□□（自己診断表示）

C:04:□□

- "インフォリチウム"以外のバッテリーが使われている。必ず"インフォリチウム"バッテリーを使う（104ページ）。
- ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりつなぐ（17ページ）。

C:13:□□

- ディスクが不良である。本機に対応したディスクを入れる（11ページ）。
- ディスクに汚れや傷がある。汚れている場合は柔らかい布などできれいにする（101ページ）。

C:32:□□

- 上記以外の症状になっている。ディスクを入れ直し、もう一度操作し直す。
- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう一度操作し直す。
- 電源を入れ直す。

E:20:□□ / E:31:□□ /E:61:□□ / E:62:□□ / E:91:□□ / E:94:□□

- 修理が必要なため、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

101-0001（ファイル関連の警告）

遅い点滅

- ファイルが壊れている。
- 扱えないファイル。

（ディスク関連の警告）

遅い点滅

- ディスクが入っていない。*
- 動画撮影時にディスク残量が5分を切った。
- 片面のディスクを裏表逆にしているため、読み出しや記録ができません。

速い点滅

- 認識できないディスクが入っている。*
- 撮影画面でファイナライズ済みのディスクを入れた。
- ディスクの容量がいっぱいである。*
- 電源スイッチが（動画）のときに、本機と異なるテレビカラーシステムで記録されたディスクが入っている。*

⏏（ディスクを取り出す必要がある警告）*

速い点滅

- 本機では認識できないディスクが入っている。
- ディスクの容量がいっぱいである。
- 本機のディスクドライブに異常が発生した可能性がある。
- ファイナライズ済みのディスクを入れた（52ページ）。

(バッテリー残量に関する警告)

遅い点滅

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約20分程でも警告表示が点滅することがある。

(温度の上昇関連の警告)

遅い点滅

- 本機の温度が上昇中である。
電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

速い点滅*

- 本機の温度が著しく上昇している。
電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

(“メモリースティック デュオ”関連の警告)

- “メモリースティック デュオ”が入っていない(25ページ)。

(“メモリースティック デュオ”初期化関連の警告)*

- “メモリースティック デュオ”が壊れている。
- “メモリースティック デュオ”が正しく初期化されていない(59、103ページ)。

(非対応“メモリースティック デュオ”関連の警告)*

- 本機では使えない“メモリースティック デュオ”を入れた(59、103ページ)。

(“メモリースティック デュオ”誤消去防止に関する警告)*

- “メモリースティック デュオ”が誤消去防止状態になっている(103ページ)。
- 他機でアクセスコントロールをかけた“メモリースティック デュオ”を使っている。

(フラッシュ関連の警告)

速い点滅

- フラッシュに異常がある。

(手ブレ警告)

- 光量不足のため、手ブレが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使う。
- 手ブレが起こりやすくなっているので、本機を両手でしっかりと固定して撮影する。ただし、手ブレマークは消えません。

* 警告表示・お知らせメッセージが出るときに、「操作音」が鳴ります(70ページ)。

お知らせメッセージの例

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

■ ディスク

⏏ ディスクに記録できません

- ディスクに異常があり、記録できません。

再生できません

- 本機に対応していないディスクは再生できません。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像は再生できません。

⏏ ディスクに記録できません 追加記録するにはファイナライズ解除してください

- ファイナライズ済みのDVD+RW/DVD-RW(SD(標準)画質のときはVIDEOモード)を使っている。ファイナライズ解除する(60ページ)。

⏏ ディスクが認識できません　取り出してください

- 本機に対応していないディスクが入っている。またはディスクに傷があるため、認識ができない状態になっている。

⏏ フォーマットエラーのディスクです

- 本機と異なるフォーマットのディスクが入っている。DVD-RW/DVD+RWは初期化をすれば使える場合もある（58ページ）。

■ "メモリースティック デュオ"

メモリースティックを入れなおしてください

- "メモリースティック デュオ"を2、3回入れ直す。それでも表示されるときは"メモリースティック デュオ"が壊れている可能性があるので交換する。

このメモリースティックはフォーマットが違います

- "メモリースティック デュオ"のフォーマットを確認し、必要であれば本機で初期化する（59、103ページ）。

メモリースティックのフォルダがいっぱいです

- 作成できるフォルダは、999MSDCFまでです。本機でフォルダの作成、消去はできません。
- 初期化するか（59ページ）、パソコンで不要なフォルダを消去する。

静止画の記録ができませんでした

- デュアル記録をしたときは、ディスク撮影を終了して静止画記録が完了するまで、本機から"メモリースティック デュオ"を取り出さない（32ページ）。

■ PictBridge対応プリンター

PictBridge対応プリンターと接続されていません

- プリンターの電源を入れ直し、USBケーブルをいったん抜いてからもう一度つなぐ。

プリントできません　プリンターを確認してください

- プリンターの電源を入れ直し、USBケーブルをいったん抜いてからもう一度つなぐ。

■ その他

これ以上選択できません

- プレイリストには999までしか画像を追加できません（47ページ）。
- 次のときは1度に100個までしか画像を選択できません。
  – 画像の削除
  – プレイリスト編集
  – 静止画の印刷

このデータはプロテクトされています

- 他機でプロテクト（誤消去防止）されたディスクを使っている。

このチャプターは分割できません*

- 極端に短い動画は分割できません。

データ修復中　⚠振動を与えないでください

- 本機では、ディスクに正常な記録がされなかった場合、自動的にデータの修復を試みる。

ディスクのデータを修復できませんでした

- データ書き込みに失敗したため修復を試みたが、データが復活しなかった。

ディスクへの書き込みや編集ができなくなる場合がある。

しばらくお待ちください

- ディスク取り出し処理に時間がかかる場合に表示される。振動を与えないようにして、電源を入れたまましばらく（約10分）放置する。

---

* 本機では、スタート/ストップボタンを押して記録を開始してから終了するまでの画像の区切りのことをチャプターと言います。

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。
付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100V～240V、50/60Hz）で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米	主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

HD（ハイビジョン）画質で見るには

- HD（ハイビジョン）画質で記録した画像をHD（ハイビジョン）画質で見るには、ハイビジョン対応のテレビ（またはモニター）とコンポーネントケーブル、AV接続ケーブルが必要です。
- 本機が再生するハイビジョン信号に対応している主な国、地域は、「テレビ方式がNTSCの国、地域（五十音順）」を参照してください。

SD（標準）画質で見るには

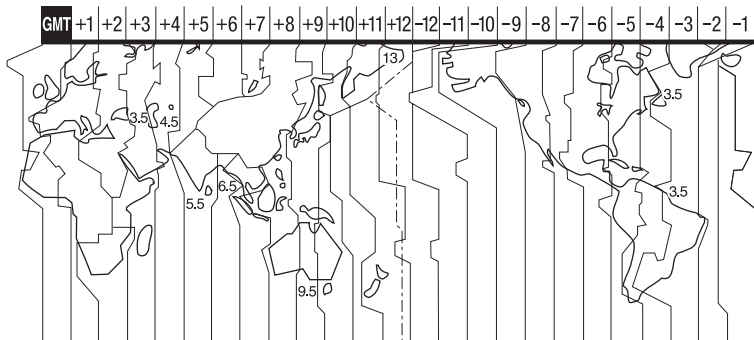
- SD（標準）画質で記録した再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC、下記参照）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）と接続ケーブルが必要です。

テレビ方式がNTSCの国、地域（五十音順）

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード･トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコ など

現地の時間に合わせるには

- 海外で使うときは、ホームメニューの（設定）→［時計設定］の［エリア設定］と［サマータイム］を設定してください（20ページ）。

世界時刻表

使用上のご注意とお手入れ

ディスクについて

本機で使用できるディスクの種類について詳しくは、11ページをご覧ください。

ディスク使用時のご注意

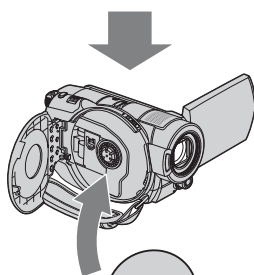
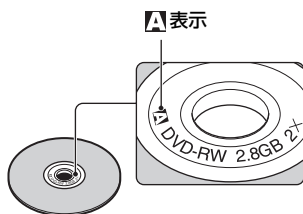
- ディスクは記録/再生面（片面ディスクの場合は印刷されていない面）に手を触れないように持ってください。

- 撮影の前にディスクの汚れ、指紋などを柔らかい布などで拭き取ってください。ディスクの状態によっては正常な記録/再生ができない場合があります。
- ディスクを装着する際は、カチッという音がするまで確実に取り付けてください。本機の液晶画面に［C：13：□□］が表示された場合は、ディスクカバーを開け、もう一度ディスクを装着し直してください。
- ディスクには、ラベルなどの粘着性のあるものを貼らないでください。ディスクのバランスが崩れると回転ムラが生じ、故障の原因となることがあります。

両面ディスクについて

両面ディスクは、表面と裏面の両方に記録できます。

■ A面に記録する場合

ディスク中心部にA表示のある面を外側にして本機に「カチッ」というまで押し込みます。

- 両面ディスクを使用する場合は、特に指紋がつかないようにご注意ください。
- 本機に両面ディスクを取り付けたまま、記録/再生面を切り換えることはできません。片面の記録/再生が終わったら、一度ディスクを取り出し、裏返しにして再び取り付けてください。
- 下記の操作は両面ディスクの各面に対して行ってください。
  - ファイナライズ（52ページ）
  - ファイナライズ解除（60ページ）
  - 初期化（58ページ）

お手入れと保管

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布などでディスクの中心から外側へ向かって軽く拭きます。汚れのひどいときは、水で少し湿らせたやわらかい布で拭いたあと、

次のページへつづく→

さらに乾いた布で水気を拭きとってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

- 直射日光が当たるなど温度の高い場所や、湿度の高い場所には置かないでください。
- 持ち運びや保管の際は付属の収納ケースに入れてください。
- 片面ディスクに文字などを記入する場合は、印刷されている面に記入してください。ボールペンなどの硬いものは避け、油性フェルトペンで記入し、インクが乾くまで放置してください。また、加熱による乾燥は避けてください。両面ディスクには記入できません。

SD（標準）画質の8cm DVD+RW/DVD+R DL再生に関してのご注意

一部のDVDプレーヤー/レコーダー/パソコンなどでは、SD（標準）画質の8cm DVD+RW/DVD+R DLを再生できない可能性があります。
DVDプレーヤーを含めたソニー製各DVD関連商品での再生可否については、「Sony DVD Guide」の「再生対応表」をご覧ください。
http://www.sony.jp/products/Consumer/dvdguide/

上記をご覧いただき、8cm DVD+RW/DVD+R DL の再生に対応していない機種をお使いのお客様は、本機でのSD（標準）画質の撮影の際に、8cm DVD-R/DVD-RWをご使用ください。

ご注意
- 8cm DVD+RW/DVD+R DLが再生可能な機器の場合も、ディスクの状態やピックアップの状態によっては、再生できない場合があります。（07年1月時点）

AVCHD規格について

本機は、AVCHD規格とDVD規格の両方の記録機能を搭載したデジタルビデオカメラレコーダーです。

AVCHD規格とは

「AVCHD」規格は、高効率の圧縮符号化技術を用いて、1080i方式※1や720p方式※2のHD（ハイビジョン）信号を記録するハイビジョンデジタルビデオカメラの規格です。映像圧縮にはMPEG-4 AVC/H.264方式を、音声にはドルビーデジタル方式、または、リニアPCM方式を採用しています。

MPEG-4 AVC/H.264方式は、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮効率を持った優れた方式です。この方式により、8cm DVDディスクにデジタルビデオカメラの高画質なハイビジョン（HD）映像信号を記録できます。

本機での記録・再生について

本機ではAVCHD規格に基づき、以下の仕様でHD（ハイビジョン）記録ができます。

映像：AVCHD規格　1440×1080/60i
音声：ドルビーデジタル5.1ch
記録メディア：8cmの DVD-RW、DVD+RW、DVD-R、DVD+R DLディスク

- 本機は、上記以外のAVCHD規格で記録されたディスクの再生や8cm DVD-RAMディスクの記録・再生には対応していません。

また、AVCHD規格でのHD（ハイビジョン）記録に加え、従来からのDVD規格でSD（標準）記録することもできます。

※1：1080i 有効走査線数1080本、インターレース方式のハイビジョン規格
※2：720p 有効走査線数720本、プログレッシブ方式のハイビジョン規格

“メモリースティック”について

“メモリースティック”（“Memory Stick”）は小さくて軽い大容量のIC記録メディアです。
本機は、標準の“メモリースティック”の約半分の大きさの“メモリースティック デュオ”のみ使えます。ただし、すべての“メモリースティック デュオ”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	**記録/再生**
メモリースティック（マジックゲート非対応）	—
メモリースティック デュオ*1（マジックゲート非対応）	○
マジックゲートメモリースティック	—
メモリースティック デュオ*1（マジックゲート対応）	○*2*3
マジックゲート メモリースティック デュオ*1	○*3
メモリースティック PRO	—
メモリースティック PRO デュオ*1	○*2*3

*1 標準の約半分大のサイズです。
*2 高速データ転送に対応した“メモリースティック”です。転送速度はお使いになる機器により異なります。
*3 “マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機ではマジックゲート機能を使ったデータは記録/再生できません。

- 静止画の圧縮形式：本機は、撮影した静止画データをJPEG（Joint Photographic Experts Group）方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「.JPG」です。
- 静止画の画像のデータファイル名：
  – 本機の画面表示：101-0001
  – パソコンの画面表示：DSC00001.JPG
- パソコン（Windows OS/Mac OS）でフォーマット（初期化）した“メモリースティック”は、本機での動作を保証いたしません。
- お使いの“メモリースティック”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。

誤消去防止スイッチ付き“メモリースティック デュオ”では

先の細いものでスライドさせて、「LOCK」にすると、記録されているデータを誤って消去しないようにできます。

取り扱い上のご注意

次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。

- 画像ファイルを読み込み中や、“メモリースティック デュオ”にデータを書き込み中（アクセスランプが点灯中および点滅中）に、“メモリースティック デュオ”を取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合

大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。

■ 取り扱いについて

次のことを守ってください。

- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “メモリースティック デュオ”本体およびメモリースティック デュオ アダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック デュオ”に付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。

次のページへつづく➡

- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。
- メモリースティック デュオ スロットには、“メモリースティック デュオ”以外は入れないでください。故障の原因となります。

■ 使用場所について

次の場所での使用や保管は避けてください。

- 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

■ メモリースティック デュオ アダプターの使用について

“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに挿入すると、標準の“メモリースティック”対応機器でもお使いになれます。

- “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。
- “メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認の上、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。また、逆向きで無理に入れると、メモリースティック デュオ スロットが破損し故障の原因となります。
- メモリースティック デュオ アダプターに“メモリースティック デュオ”が装着されない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

■ “メモリースティック PRO デュオ”についてのご注意

- 本機で動作確認されている“メモリースティック PRO デュオ”は4GBまでです。
- 使用可能な“メモリースティック”の最新情報につきましてはホームページ上の「メモリースティック対応表」をご確認ください（裏表紙）。

画像の互換性について

- 本機は（社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器（DCR-TRV900、DSC-D700/D770）で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した“メモリースティック デュオ”が本機で使えないときは、59ページの手順にしたがい本機で初期化をしてください。初期化すると“メモリースティック デュオ”に記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
  - パソコンで加工した画像データ
  - 他機で撮影した画像データ

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー（Hシリーズ）のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。“インフォリチウム”バッテリーHシリーズには InfoLITHIUM H SERIES マークがついています。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売りのACアダプター／チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。
HDR-UX7に付属のバッテリーNP-FH70は、“ActiFORCE”に対応しています。
“ActiFORCE”とは、当社従来のインフォ

リチウム"バッテリー Pシリーズ電源システムと比較して高容量、急速充電、バッテリー残量計算精度・スピードを改善した、次世代電源システムの機能名称です。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10～30℃の範囲で、充電ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜き、バッテリーを取り外してください。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
  - バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける
  - 高容量バッテリー「NP-FH100」(別売り)を使う
- 液晶パネルの使用や再生/早送り/早戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-FH100」(別売り)のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影や再生中は、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前にDVD-RW/DVD+RWでためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約20分程度でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告する マークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、ホームメニューの (設定)→[一般設定]→[自動電源オフ]→[なし]に設定し、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください(73ページ)。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

x.v.Color(エックスブイ・カラー)について

- x.v.Colorとは、xvYCC規格の親しみやすい呼称としてソニーが提案している商標です。
- xvYCC規格とは、動画色空間の国際規格のひとつです。現行の放送などで使われている規格より広い色彩が表現できます。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
  炎天下や熱器具の近くや、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。

次のページへつづく→

- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
  液晶画面やファインダー内部を傷めます。

■ 長時間使用しないときは

- 本機の性能を維持するために定期的に電源を3分間入れ、撮影および再生を行ってください。
- 本機からディスクを取り出しておいてください。
- バッテリーは使い切ってから保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるピックアップレンズやディスクに水滴が付くことで、故障の原因になります。

■ 結露が起きたときは

電源を切って、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。

■ 結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立の後
- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でお使いになると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

■ お手入れ

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

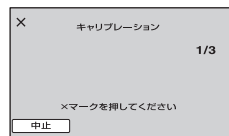
別売りの液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶パネルにかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

タッチパネルの調節（キャリブレーション）について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。

このような症状になったときは、次の操作を行ってください。電源は付属のACアダプターを使ってコンセントから取ることをおすすめします。

① 本機の電源を入れ、ホームボタンを押す。

② ホームメニューの（設定）→［一般設定］→［キャリブレーション］をタッチする。

③ “メモリースティック　デュオ”の角のような先の細いものを使って、画面に表示される×マークをタッチする。
解除するには［中止］をタッチする。
×マークの位置は変わります。

正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。

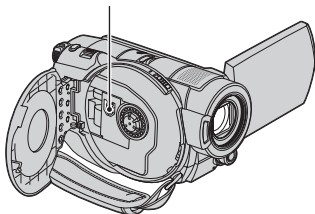
ご注意

- キャリブレーションするときは、先のとがったものを使わないでください。液晶画面を傷つける場合があります。
- 液晶画面を反転させているときや、外側に向けて本体に閉じたときは、キャリブレーションできません。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
  - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類
  - 上記が手に付いたまま本機を扱う
  - ゴムやビニール製品との長時間接触

ピックアップレンズについて

- 本機のピックアップレンズ（ディスクカバーの内側）に触れないでください。また、ほこりがつかないように、ディスクを出し入れするとき以外はディスクカバーを閉じておいてください。
- ピックアップレンズが汚れて本機が動作しなくなったときは、市販のブロアーを使ってクリーニングしてください。ピックアップレンズに直接触れてのクリーニングはしないでください。故障の原因となります。

カメラレンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、**3か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。

ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

■ 充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切（充電）」にして24時間以上放置する。

“メモリースティック デュオ”を廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、“メモリースティック デュオ”内のデータは完全に消去されないことがあります。“メモリースティック デュオ”を譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また“メモリースティック デュオ”を廃棄するときは、“メモリースティック デュオ”本体を物理的に破壊することをおすすめします。

その他

次のページへつづく➡

主な仕様

システム

映像圧縮方式	AVCHD(HD)/MPEG2(SD)/JPEG(静止画)
音声圧縮方式	Dolby Digital2/5.1ch ドルビーデジタル5.1クリエーター搭載
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式 1080/60i方式
使用可能ディスク	8cmのDVD-RW/DVD+RW/DVD-R/DVD+R DL
記録フォーマット	動画 HD: AVCHD 1080/60i SD: DVD-RW: DVD-VIDEO(VIDEOモード) DVD-Video Recording(VRモード) DVD+RW: DVD+RW Video DVD-R/DVD+R DL: DVD-VIDEO 静止画 Exif Ver.2.2*1
録画時間	DVD-RW/DVD+RW/DVD-R: AVC HD 12M(HQ+): 約15分 AVC HD 9M(HQ): 約20分 AVC HD 7M(SP): 約25分 AVC HD 5M(LP): 約32分 SD 9M(HQ): 約20分 SD 6M(SP): 約30分 SD 3M(LP): 約60分 DVD+R DL: AVC HD 12M(HQ+): 約27分 AVC HD 9M(HQ): 約35分 AVC HD 7M(SP): 約45分 AVC HD 5M(LP): 約60分 SD 9M(HQ): 約35分 SD 6M(SP): 約55分 SD 3M(LP): 約110分
ファインダー	電子ファインダー:カラー
撮像素子	HDR-UX5: 5.9mm(1/3型)CMOSセンサー 記録画像数:静止画時最大400万画素相当*2(2 304×1 728)(4:3時) 総画素数:約210万画素 動画時有効画素数(16:9モード):約143万画素 動画時有効画素数(4:3モード):約108万画素 静止画時有効画素数(16:9モード):約149万画素 静止画時有効画素数(4:3モード):約199万画素 HDR-UX7: 6.3mm(1/2.9型)CMOSセンサー 記録画像数:静止画時最大610万画素相当*2(2 848×2 136)(4:3時) 総画素数:約320万画素 動画時有効画素数(16:9モード):約228万画素 動画時有効画素数(4:3モード):約171万画素 静止画時有効画素数(16:9モード):約228万画素 静止画時有効画素数(4:3モード):約304万画素
ズームレンズ	カール ツァイス　バリオゾナーT∗ HDR-UX5: 10倍(光学) 20倍、80倍(デジタル) フィルター径37mm F1.8～2.9 f=5.1～51mm 35mmカメラ換算では 動画撮影時*3: 41.3～485mm(16:9モード) (4:3モードでは50.5～594mm) 静止画撮影時: 40.4～404mm(16:9モード) (4:3モードでは37～370mm)

	HDR-UX7: 10倍(光学) 20倍(デジタル) フィルター径37mm F1.8～2.9 f=5.4～54mm 35mmカメラ換算では 動画撮影時: 40～400mm(16:9モード) (4:3モードでは49～490mm) 静止画撮影時: 40～400mm(16:9モード) (4:3モードでは37～370mm)
色温度切り換え	[オート]、[ワンプッシュ]、 [屋内](3 200K)、 [屋外](5 800K)
最低被写体照度	5 lx(ルクス)(オートスロー シャッター 入、シャッタースピード 1/30秒) 0 lx(ルクス)(NightShot時)

*1 (社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のファイルフォーマット。
*2 ソニー独自のクリアビッドCMOSセンサーの画素配列と画像処理システム新エンハンスドイメージングプロセッサーにより、静止画は表記の記載サイズを実現しています。
*3 広角画素読み出しによる実動作値

入/出力端子

A/V OUT端子	10ピン特殊コネクター 映像:1 Vp-p、75 Ω Y出力 1Vp-p、75Ω C出力 0.286Vp-p、75Ω 音声:327mV(47 kΩ負荷時)、出力インピーダンス2.2 kΩ以下
COMPONENT OUT端子	D1/D3映像:コンポーネントビデオ端子 Y:1Vp-p、75Ω PB/PR、CB/CR: ±350mVp-p、75Ω
HDMI OUT端子	タイプA(19ピン)
ヘッドホン端子(HDR-UX7)	ステレオミニジャック (ø 3.5)
USB端子	mini-B
MIC入力端子(HDR-UX7)	ステレオミニジャック (ø 3.5)
REMOTE端子	ステレオミニミニジャック (ø 2.5)

液晶画面

画面サイズ	HDR-UX5: 6.9cm(2.7型、アスペクト比16:9) HDR-UX7: 8.8cm(3.5型、アスペクト比16:9)
総ドット数	211 200ドット 横960×縦220

電源部、その他

電源電圧	バッテリー端子入力6.8V/7.2V DC端子入力8.4V
消費電力	HDR-UX5: ファインダー使用時、明るさ標準: HD: 4.9W、SD: 4.1W 液晶画面使用時、明るさ標準: HD: 5.1W、SD: 4.3W HDR-UX7: ファインダー使用時、明るさ標準: HD: 5.4W、SD: 4.6W 液晶画面使用時、明るさ標準: HD: 5.6W、SD: 4.7W
動作温度	0℃～+40℃
保存温度	−20℃～+60℃
外形寸法	HDR-UX5: 72×87×142mm(幅×高さ×奥行き)(突起部含む) 72×87×145mm(幅×高さ×奥行き)(突起部含む、付属バッテリーNP-FH60装着状態) HDR-UX7: 72×87×142mm(幅×高さ×奥行き)(突起部含む) 72×87×145mm(幅×高さ×奥行き)(突起部含む、付属バッテリーNP-FH70装着状態)
本体質量	HDR-UX5: 約530g(本体のみ)

撮影時総質量	HDR-UX7: 約590g（本体のみ） HDR-UX5: 約610g（バッテリーNP-FH60、ディスク含む。） HDR-UX7: 約690g（バッテリーNP-FH70、ディスク含む。）
付属品	16ページをご覧ください。

ACアダプター　AC-L200/L200B

電源	AC100～240V、50/60Hz
消費電力	18W
定格出力	DC8.4V *
動作温度	0℃～+40℃
保存温度	−20℃～+60℃
外形寸法	約48×29×81mm（最大突起部をのぞく）（幅×高さ×奥行き）
質量	約170g（本体のみ）

* その他の仕様については AC アダプターのラベルをご覧ください。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FH60

最大電圧	DC8.4V
公称電圧	DC7.2V
容量	7.2Wh（1 000mAh）
最大外形寸法	約31.8×33.3×45.0mm（幅×高さ×奥行き）
質量	約80g
使用温度	0℃～+40℃
使用電池	Li-ion

NP-FH70

最大電圧	DC8.4V
公称電圧	DC6.8V
容量	12.2Wh（1 800mAh）
最大外形寸法	約31.8×33.3×45.0mm（幅×高さ×奥行き）
質量	約95g
使用温度	0℃～+40℃
使用電池	Li-ion

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

保証書と
アフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。

火災
感電

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。

分解禁止

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターや充電器などもコンセントから抜いて、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

禁止

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

禁止

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

禁止

指定以外の電池、ACアダプター、充電器を使わない

火災やけがの原因となることがあります。

禁止

機器本体や付属品は乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や"メモリースティック"などを飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

禁止

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。

また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

指示

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

フラッシュ、ビデオライトご使用上の注意

- 点灯したまま放置しない。
- 使用中に紙や布などの燃えやすいものを近づけない。
- ビデオライトの点灯中および消灯直後のランプに触らない。
- 指定以外のランプを使用しない。火災ややけどの原因になります。
- 可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュまたは、ビデオライトを使用しない。

禁止

フラッシュ、ビデオライトなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

禁止

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

通電中のACアダプター、充電器、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外したり、電池を本体から外して保管してください。火災の原因となることがあります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

禁止

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

ひび割れ、変形したディスクやハート型、八角形など特殊形状のディスクは使わない

高速回転により飛び出して怪我の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、AV接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。

電池や付属品、記録メディア、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

指示

電池や“メモリースティック”などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するような場合、大音量で長時間続けて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与える事があります。呼びかけられたら返事が出来るくらいの音量で聞きましょう。

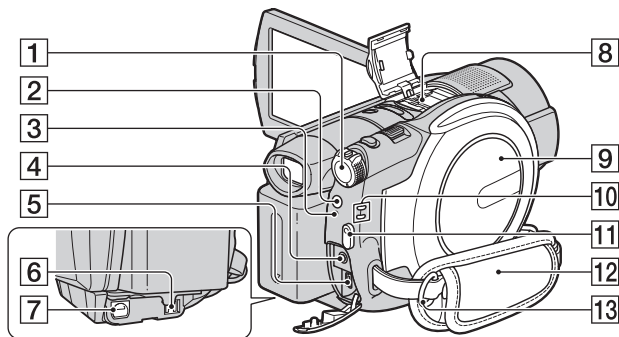
次のページへつづく→

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い	**漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けが**や**やけど、火災**などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険	●バッテリーパックは指定された充電器以外で充電しない。 ●電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。 ●電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。 ●電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。 ●電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。	 禁止
	●電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。 ●ボタン電池は充電しないでください。	 禁止
	●電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取りはずしておく。	 指示

お願い	リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったこれらの電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。 Li-ion リチウムイオン電池 **充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については** 有限責任中間法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

各部のなまえ

（　）内は参照ページです。

1 電源スイッチ（20）

2 ϟ（フラッシュ）ボタン（32）

3 ϟ/充電ランプ（17、32）

4 REMOTE端子

別売りのアクセサリーを接続します。

5 ψ（USB）端子（50）

6 DC IN端子（17）

7 A/V端子（41）

8 アクティブインターフェースシュー Active Interface Shoe（31）

専用マイクやフラッシュなどを使うときに、本機から電源供給し、本機の電源スイッチに連動して接続機器の電源の入/切ができます。お使いになるアクセサリーの取扱説明書をあわせてご覧ください。

接続機器が外れにくい構造になっています。取り付けるときは、押しながら奥まで差し込み、ネジを確実に締め付けてください。取り外すときは、ネジをゆるめ、上から押しながら外してください。

- フラッシュ（別売り）を付けたまま撮影するときは、充電音が録音されないように、フラッシュの電源を切ってください。
- 別売りのフラッシュと内蔵フラッシュは同時に使えません。
- 外部マイクをつなぐと、その音声が内蔵マイクよりも優先されます（31ページ）。

9 ディスクカバー（23）

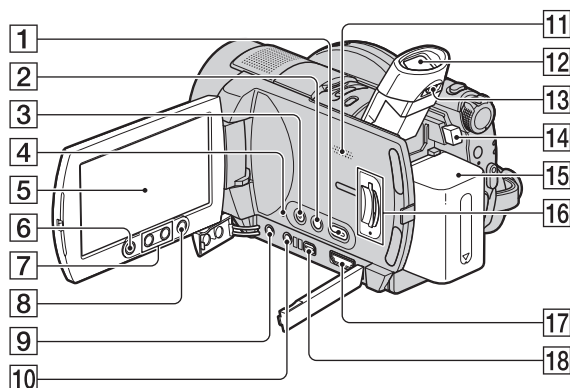
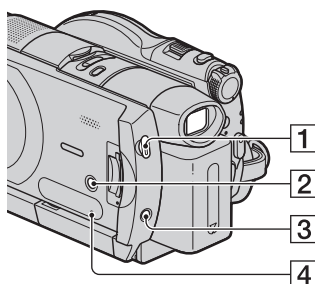
10 🎞（動画）/📷（静止画）ランプ（20）

11 スタート/ストップボタン（30）

12 グリップベルト（29）

13 ショルダーベルト取り付け部

ショルダーベルト（別売り）を取り付けます。

次のページへつづく➡

HDR-UX5

1 (画像再生)ボタン（36）

2 画面表示/バッテリーインフォボタン（18）

3 シンプルボタン（26）

4 RESET（リセット）ボタン

日時を含めすべての設定が解除される。

5 液晶画面/タッチパネル（13、22）

6 スタート/ストップボタン（29）

7 ズームボタン（31、38）

8 (ホーム)ボタン（14、61）

9 MIC（PLUG IN POWER）端子（HDR-UX7）

外部マイクをつなぐと、その音声が内蔵マイクよりも優先されます（31ページ）。

10 (ヘッドホン)端子（HDR-UX7）

11 スピーカー

再生時の音声が聞けます。音量調節については、37ページをご覧ください。

12 ファインダー（22）

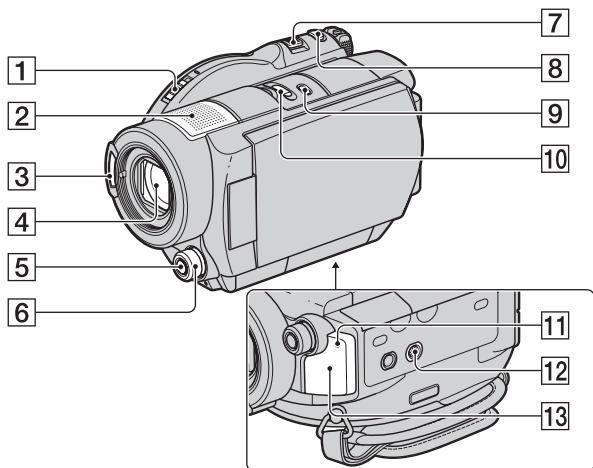
13 視度調整つまみ（22）

14 BATT（バッテリー取り外し）ボタン（18）

15 バッテリーパック（17）

16 "メモリースティック デュオ"スロットとアクセスランプ（25）

17 HDMI OUT端子（39）

18 COMPONENT OUT端子（39）

1 ディスクカバーオープンスイッチとアクセスランプ（23）

2 内蔵マイク（31）

外部マイクをつないだときは、その音声が優先されます。

3 フラッシュ発光部（32）

4 レンズ（カールツァイスレンズ搭載）（5）

5 マニュアルボタン（34）（HDR-UX7）

6 カメラコントロールダイヤル（34）（HDR-UX7）

7 ズームレバー（31、38）

8 フォトボタン（30）

9 逆光補正ボタン（33）

10 NIGHTSHOTスイッチ（33）

11 録画ランプ（29）

録画時に赤く点灯します。

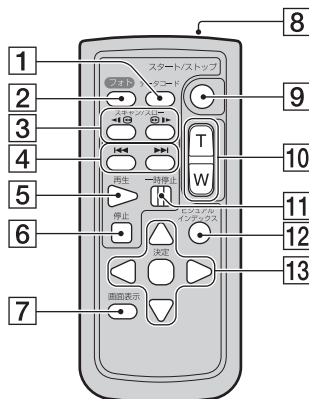
ディスクやバッテリーの残量が少なくなると点滅します。

12 三脚用ネジ穴

三脚（別売り、ネジの長さが5.5mm以下）を三脚用ネジ穴に取り付ける。

13 リモコン受光部

リモコン（118ページ）は、リモコン受光部に向けて操作します。

ワイヤレスリモコン

1 データコードボタン（69）

再生中に押すと、日付時刻データ/カメラデータを表示する。

2 フォトボタン（30）

押したときの画像が静止画として記録される。

3 スキャン/スローボタン（37）

4 ⏮ ⏭（前の画像/次の画像）ボタン（37）

5 再生ボタン（37）

6 停止ボタン（37）

7 画面表示ボタン（18）

8 リモコン発光部

9 スタート/ストップボタン（30）

10 ズームボタン（31、38）

11 一時停止ボタン（37）

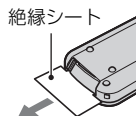
12 ビジュアルインデックスボタン（36）

再生中に押すと、ビジュアルインデックス画面を表示する。

13 ◀ / ▶ / ▲ / ▼ / 決定ボタン

ビジュアルインデックス/プレイリスト画面で、いずれかのボタンを押すと、本機の画面にオレンジ色の枠が表示される。◀ / ▶ / ▲ / ▼で画面上の希望のボタンまたは項目を選び、決定ボタンを押す。

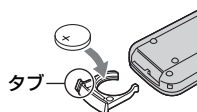
ご注意

- 絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。

- 本機前面のリモコン受光部に向けて操作してください（117ページ）。
- 一定時間リモコンからの操作がないと、オレンジ色の枠は消えます。再び ◀ / ▶ / ▲ / ▼ または決定ボタンのいずれかを押すと、最後に表示されていた位置に枠が表示されます。
- ◀ / ▶ / ▲ / ▼ で操作できないボタンもあります。

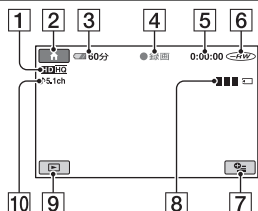
リモコンの電池を交換するには

① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。

② ＋面を上にして新しい電池を入れる。

③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。

- リモコンには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

画面表示

動画を撮影中

1 記録画質（HD/SD）（9）と録画モード（HQ+/HQ/SP/LP）（63）

2 ホームボタン（13）

3 バッテリー残量の目安（18）

4 撮影状態（[スタンバイ]/[●録画]）

5 カウンター（時：分：秒）

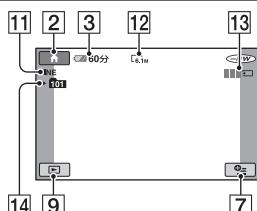
6 ディスクの種類（11）
SD（標準）画質でDVD-RWのときは記録フォーマット（VIDEO/VR）も表示されます。

7 オプションボタン（15）

8 デュアル記録（32）

9 画像再生ボタン

10 5.1chサラウンド記録（31）

静止画を撮影中

11 画質（[FINE]/[STD]）（68）

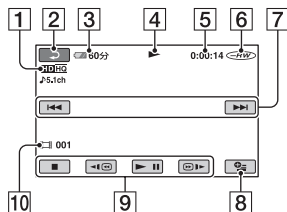
12 画像サイズ（66）

13 静止画記録中

14 記録フォルダ

ちょっと一言

- デュアル記録時には、動画と静止画の撮影画面表示が同時に現れます。表示される位置は、通常操作の画面表示とは若干異なります。
- “メモリースティック デュオ”に記録した静止画の枚数が多くなると、自動的に新しいフォルダを作成し画像を保存します。

次のページへつづく→

動画を再生中

1 記録方式（HD/SD）（9）と録画モード（HQ+/HQ/SP/LP）（63）

2 戻るボタン

3 バッテリー残量の目安（18）

4 ディスク再生表示

5 カウンター（時：分：秒）

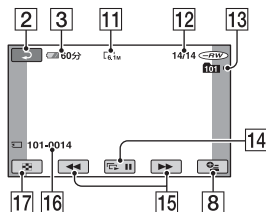
6 ディスクの種類（11）

7 前の画像/次の画像ボタン（37）

8 オプションボタン（15）

9 動画操作ボタン（37）

10 シーン番号

静止画を再生中

11 画像サイズ（66）

12 現在の枚数/撮影済み枚数

13 データファイル名

14 スライドショーボタン（37）

15 前の画像/次の画像ボタン（37）

16 再生フォルダ

17 ビジュアルインデックス表示ボタン（36）

液晶画面とファインダーの表示

撮影/再生中や、設定を変更したときに次の表示が出ます。

画面左上

表示	意味
♪5.1ch	5.1chサラウンド記録/再生(31)
	セルフタイマー(80)
	フラッシュ(32)
	マイク基準レベル低(80)
4:3	ワイド切換(64)

画面右上

表示	意味
ホワイト フェーダー　ブラック フェーダー	フェーダー (79)
OFF	液晶バックライト切(22)

画面中央

表示	意味
	スライドショー設定(38)
	NightShot(33)
S	Super NightShot(79)
	Color Slow Shutter (79)
	PictBridge接続中 (50)
	警告(96)

画面下

表示	意味
P	ピクチャーエフェクト (79)
D	デジタルエフェクト(79)
	手動フォーカス(76)
	シーンセレクション(77)
	逆光補正(33)
	ホワイトバランス(78)
OFF	手ブレ補正切(64)
	フレキシブルスポット測光(77)/カメラ明るさ (77)
AS	AEシフト(63)(HDR-UX7)
WS	WBシフト(64)(HDR-UX7)
T	テレマクロ(76)
	ゼブラ(65)
COLOR	X.V.COLOR(64)

撮影時のデータについて

撮影時の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが、自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に日付時刻データ/カメラデータとして確認できます(69ページ)。撮影時の日付時刻は他機などで表示させることができます([プレーヤ用日付記録]65ページ)。

用語集

■ 5.1chサラウンド音声(5.1チャンネル サラウンド音声)

フロント側(左/右/センター)、リア側(左/右)の5chと、120Hz以下の低域を専門とするサブウーファー0.1chを加えた6つのスピーカーで音を再生します。

■ AVCHD規格

HD(ハイビジョン)信号をMPEG-4 AVC/H.264方式を用いて記録するハイビジョンデジタルビデオカメラの規格です。

■ DVD規格

SD(標準)信号を8cm DVDディスクに記録する規格です。

■ MPEG(エムペグ)

Moving Picture Experts Groupの略で、映像(動画)および音声の符号化(画像圧縮の方法)に関する規格の総称です。MPEG1、MPEG2などの規格があります。本機ではSD(標準)画質の動画をMPEG2形式で記録します。

■ MPEG-4 AVC/H.264

ISO/IECとITU-Tの2つの国際標準化機関が2003年に共同で標準化した最新の画像符号化方式です。従来のMPEG-2に比べて2倍以上の圧縮効率を持ちます。本機では、ハイビジョン動画の画像符号化にこの方式を用いています。

■ VIDEOモード

SD(標準)画質でDVD-RWを使うときに選択する記録フォーマットの1つで、他のDVD機器との再生の互換性に優れていることが特徴です。

■ VRモード

SD(標準)画質でDVD-RWを使うときに選択する記録フォーマットの1つで、本機での編集(画像の削除や、並び替え)ができるのが特徴です。ファイナライズをすると、VRモードに対応したDVD機器で再生できます。

■ サムネイル

多数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことです。本機では、「ビジュアルインデックス」や「ディスクメニュー」がサムネイルを使った表示方法です。

■ ドルビーデジタル

米ドルビーラボラトリーズ社が開発した音声の符号化(圧縮方法)形式です。

■ ドルビーデジタル5.1クリエーター

米ドルビーラボラトリーズ社が開発した音声圧縮技術です。高音質を維持したまま、音声を効率的に圧縮します。ディスクのスペースを有効に使いながら、5.1chサラウンド音声が作成できます。またドルビーデジタル5.1クリエーターで作成されたディスクは、本機のディスクと互換性のある機器で再生できます。

■ ビジュアルインデックス

撮影した動画や静止画の一覧を表示して、映像を見ながら再生したい場面を選ぶことができる機能です。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

各部のなまえ・用語集・索引

次のページへつづく➡

数字

各部のなまえ・用語集・索引

商標について

- “ハンディカム”、HANDYCAMはソニー株式会社の登録商標です。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴは松下電器産業株式会社とソニー株式会社の商標です。
- “Memory Stick”、“メモリースティック”、MEMORY STICK™、“メモリースティック デュオ”、MEMORY STICK DUO、“メモリースティック PRO デュオ”、MEMORY STICK PRO DUO、“マジックゲート”、MAGICGATE、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲート　メモリースティック”、“MagicGateMemory Stick Duo”、“マジックゲート　メモリースティック デュオ”はソニー株式会社の商標です。
- InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。
- DVD-RW、DVD+RW、DVD-R、DVD+R DL ロゴは商標です。
- “x.v.Color”はソニー株式会社の商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- ドルビーデジタル5.1クリエーターはドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows MediaはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MacintoshとMac OSはApple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、TM、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA. L.L.C.,（住所：250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206）より取得可能です。

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。

(ii) AVC Video（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウエアである「C Library」、「Expat」、「zlib」、「libjpeg」が搭載されております。当該ソフトウエアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license1.pdf」をご覧ください。「C Library」、「Expat」、「zlib」、「libjpeg」の記載（英文）が収録されています。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウエアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)またはGNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウエアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウエアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスし、モデル名HDR-UX1/HDR-SR1をお選びください。

http://www.sony.net/Products/Linux/

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license2.pdf」をご覧ください。「GPL」、「LGPL」の記載(英文)が収録されています。

PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。

http://www.adobe.com/

■ 製品についてのサポートのご案内

ホームページで調べる

ハンディカムの最新サポート情報
(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)
http://www.sony.co.jp/cam/support/

ハンディカムホームページ
http://www.sony.co.jp/cam
ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

メモリースティック対応表
http://www.sony.co.jp/mstaiou
使用可能な"メモリースティック"を確認することができます。

付属ソフトウェア(Picture Motion Browser)のサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる(おかけ間違いにご注意ください)

テクニカルインフォメーションセンター

- **ナビダイヤル**.................... 0570-00-0066
  (全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
- **携帯電話・PHSでのご利用は** 0466-38-0253
  (ナビダイヤルが使用できない場合はこちらをご利用ください)

受付時間: 月～金曜日 午前9時～午後8時 土、日曜日、祝日 午前9時～午後5時
お電話の際は、本機をお手元にご用意ください。

修理のお申し込み

指定宅配便での修理品のお引き取りから修理後の製品のお届けまでを一括して行います。テクニカルインフォメーションセンターへお電話いただくか、WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-repair/

■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心、便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-regi/

登録後は登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
詳しくは下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cam/contact/

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1 http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC (揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

SONY HANDYCAM HDR-UX5/UX7